

第30回市民との意見交換会 意見集計表

【目 次】

第30回市民との意見交換会開催内容	1
1. 市民意見の整理及び検討結果(広報広聴委員会における検討)	2
① 環境にやさしいまちの推進に向けた市民への考え方の共有及び地域住民が安心して暮らせる環境づくりについて	3
② 地域公共交通の利便性向上について	4
③ 持続可能な地域社会に向けた支援について	5
④ 防災意識の向上について	7
2. 議会報告、市政全般(地区別テーマ含む)について	8
総括	9
① 予算決算委員会第1分科会(行財政に関すること)	14
② 予算決算委員会第2分科会(生活環境、健康福祉、教育文化に関すること)	40
③ 予算決算委員会第3分科会(産業経済に関すること)	68
④ 予算決算委員会第4分科会(建設都市計画に関すること)	70
⑤ 広報広聴委員会	77
3. 事後処理報告書について	80

第30回市民との意見交換会地区別報告書

●開催内容

1. 議会報告

(1) 9月定例会議の報告

2. 意見交換

(1) 市政・議会運営に関する意見交換

議員の班編成(◎は各班の代表者)

1班 ◎大竹 俊哉、笹内 直幸、長谷川 純一、大山 享子、松崎 新

2班 ◎長郷 潤一郎、平田 久美、高梨 浩、原田 俊広

3班 ◎丸山 さよ子、中川 廣文、高橋 義人、村澤 智、渡部 認

4班 ◎譲矢 隆、大島 智子、小畑 匠、古川 雄一、横山 淳、石田 典男

5班 ◎成田 芳雄、桎屋 奈津子、奥脇 康夫、内海 基、吉田 恵三、小倉 孝太郎

(清川雅史議長は、班編成によらず参加)

班	地区	開催日	時間	会場	テーマ	参加者		
						男性	女性	合計
第1班	湊	令和6年11月13日(水)	18時00分	湊公民館 会議室・視聴覚室	地域づくりについて	13	0	13
	一箕	令和6年11月12日(火)	18時30分	一箕公民館 1階会議室	地域づくりについて	8	5	13
	河東	令和6年11月11日(月)	18時00分	河東農村環境改善センター 会議室	地域づくりについて	4	0	4
第2班	謹教	令和6年11月17日(日)	18時00分	謹教コミュニティセンター 集会室	町内会と地域づくりについて	1	1	2
	鶴城	令和6年11月16日(土)	18時00分	城前団地 集会所	町内会と地域づくりについて	7	0	7
	神指	令和6年11月12日(火)	18時00分	中央公民館神指分館 会議室	町内会と地域づくりについて	5	0	5
第3班	東山	令和6年11月14日(木)	18時00分	東公民館 1階会議室1・2	地域防災について	8	1	9
	門田	令和6年11月11日(月)	18時00分	南公民館 1階会議室	地域のつながりづくりについて	1	0	1
	大戸	令和6年11月13日(水)	18時00分	大戸公民館 2階講義室	地域のつながりづくりについて	6	0	6
第4班	城北	令和6年11月13日(水)	18時00分	城北コミュニティセンター 2階講習室	これからの地域のつながりづくりについて	8	0	8
	行仁	令和6年11月19日(火)	18時30分	行仁コミュニティセンター 1階集会室	これからの地域のつながりづくりについて	8	0	8
	町北・高野	令和6年11月14日(木)	18時30分	北公民館 1階会議室1・2	これからの地域のつながりづくりについて	8	0	8
第5班	城西	令和6年11月17日(日)	15時00分	城西コミュニティセンター 2階集会室	地域づくりについて	13	1	14
	日新	令和6年11月14日(木)	18時30分	日新コミュニティセンター 2階講習室	地域づくりについて	6	1	7
	北会津	令和6年11月11日(月)	18時30分	北会津支所ピカリンホール	地域防災について	4	0	4
参加者合計						100名	9名	109名

1. 市民意見の整理及び検討結果について （広報広聴委員会における検討）

第30回市民との意見交換会の市民意見の整理及び検討結果

議会として検討すべき 主な政策課題	環境にやさしいまちの推進に向けた市民への考え方の共有及び地域住民が安心して暮らせる環境づくりについて		
政策分野名	(政策分野22) 低炭素・循環型社会 (政策分野23) 自然環境・生活環境 (政策分野25) 生活・安全		
目指す姿	(政策分野22) 省エネルギーや再生可能エネルギーが普及し、資源循環型のライフスタイルが根付く、環境への負荷が少ないまち (政策分野23) 市民一人ひとりが環境保全・美化意識を持ち、豊かな自然に囲まれた、きれいで快適な生活環境が整ったまち (政策分野25) 交通安全、防犯、市民相談体制などが充実し、適切かつ迅速な対応により、安全で安心して生活できるまち		
施策名	(政策分野22) 施策1 環境負荷の低減 (政策分野23) 施策1 豊かな自然環境の保全 (政策分野25) 施策1 交通・防犯体制の充実	施策2 ごみの減量化 施策2 快適な生活環境の保全 施策2 市民相談・消費者保護の充実	施策3 廃棄物の適正な処理
【主な意見】			
・共和、赤井地区は風力発電の全体計画そのものに反対しているわけではない。居住エリア付近での開発についてだけ反対していることを理解してほしい。土砂災害特別危険区域に指定されていることや、水源地区にも近いことから影響があるのではないかと心配している。(湊地区) 【第2分科会】 ・背炙山は、生活の源である各地区の簡易水道の源泉が点在し、また農業用水である堤も点在することから、風力発電設置に伴う地下水や沢水への影響が懸念される。(湊地区) 【第2分科会】 ・背炙山で現在8基の風力発電が稼働しているが、もう50基追加で設置しようとしている。この風力発電の件について、議会で議題になっていないのではないかと。(東山地区) 【第2分科会】 ・背炙山の風力発電施設の建設計画については、議会は陳情を不採択にしたが、結局は建設は進められるのか。(謹教地区) 【第2分科会】 ・町内会だけではなく、市でも本気になって対策を考えなくてはならないと思う。市長もごみ減量化と言っているが、町内会任せになっている。(行仁地区) 【第2分科会】 ・ごみの処分を有料化することは、逆にお金さえ払えば何でも捨ててよいのかと考える人もいるので、慎重に考えてほしい。(城西地区) 【第2分科会】 ・東山温泉の事業者としては、山に人工的な構造物（風力発電施設）ができると様々な影響があるのではないかと考える。(東山地区) 【第2分科会】			
【市民意見から見えてくる現状や問題点】			
・風力発電については、市の事業ではないが、市民からの強い反対意見がある。 ・共和、赤井地区は風力発電の全体計画そのものに反対しているわけではなく、居住エリア付近での開発に反対している。 ・ごみ処分を有料化することで、逆にいくらでも捨てて良いという考えになってしまうことへの不安を感じる方がいる。 ・ごみの減量の推進について、地域住民に任せきりになっていないか。 ・ごみ収集所について、カラスの被害による苦情が区長に行き、対応に苦労している。			
【議会において検討していくべき項目】			
・ごみ処分の有料化については、様々な課題を想定しながら、慎重に検討する必要がある。 ・ごみの減量に向けて、市と市民の責務を明確にし、地域住民との協力体制を構築していく必要がある。また、ごみ処分を有料化する際には、地域住民への丁寧な説明が必要である。			
【新たに検討していくべき項目】			
・会津若松市ではゼロカーボンシティや脱炭素推進計画を実施しているが、現在進められている背炙山への風力発電の開発について、市民から環境への不安の声が多く挙がっている。この風力発電事業は市の事務事業ではないが、議会として不安に思う市民に寄り添い、市民要望に応えていくべきと考える。			

第30回市民との意見交換会の市民意見の整理及び検討結果

議会として検討すべき 主な政策課題	地域公共交通の利便性向上について		
政策分野名	(政策分野31) 公共交通 (政策分野36) 地域自治・コミュニティ (政策分野41) 行政運営		
目指す姿	(政策分野31) 公共交通ネットワークの再構築と活性化により公共交通の利用者が増え、市内外の交流が盛んなまち (政策分野36) 地域コミュニティの主体的で活発な活動により、強い絆のもと特色ある地域づくりが進むまち (政策分野41) 社会経済状況の変化に柔軟に対応し、最少の経費で最大の効果を挙げ、適切な行政サービスが持続的に提供されているまち		
施策名	(政策分野31) 施策1 公共交通ネットワークの活性化と再生 (政策分野36) 施策1 地域コミュニティへの支援 施策2 地域主体のまちづくりの推進 施策3 中山間地域の活力の向上 (政策分野41) 施策1 市民と行政とのコミュニケーションの推進 施策2 社会の変化に対応していく行政運営 施策3 行政サービスの最適化と利便性向上 施策4 広域行政の推進		

【主な意見】

- ・神指地区の移動手段の現状は、家族の協力などでどうにか確保されている状況ではあるが、My Ride どこでもバスの範囲を広げていただくことはできないのかと思う。利用状況だけでなく、市内満遍なく公共交通の恩恵を受けれるように目配りしてもらいたい。(神指地区) 【第1分科会】
- ・湊地区でライドシェアが実施されているが、神指地区では運行できないのか。(神指地区) 【第1分科会】
- ・深夜午前2時から3時になると、タクシーが営業していない。自分が具合が悪い時は救急車を呼べばいいが、親戚や知人の容態が急変した場合、駆け付けることができないという意見が対馬館団地町内会の中で出ている。当番制など深夜の交通手段の確保を検討してもらいたい。(城西地区) 【第1分科会】
- ・My Ride どこでもバスの事業について、只見線から東側しか対応してなく、ドンキホーテからは呼べるが、御旗町からだ、結局しばらく歩かなければならぬ、利便性が低いと思う。令和7年1月までには、対象が金堀地区も追加になるということだが、城西地区、門田地区などが追加エリアにならない理由が知りたいので、この事業の経緯と継続性について教えてほしい。(城西地区) 【第1分科会】
- ・県道会津若松三島線を通っている会津若松北会津支所線は、1人や2人しか乗っていない。朝と夜の通勤通学で確実に使うところはそのままで、昼間はMy Ride どこでもバスを利用してもらおうというような実証実験に拡大した方が運営事業者としてもよいと思う。(城西地区) 【第1分科会】
- ・大戸地区外から通う生徒の交通費が自己負担である状況はおかしい。せめて、一定区間だけでも電車賃の補助はできないか。小規模特認校になって、学校に行けるようになった子を支援してほしい。(大戸地区) 【第2分科会】

【市民意見から見える現状や問題点】

- ・My Ride どこでもバスも含め、乗車されなければ運航の継続は難しい。
- ・My Ride どこでもバスは、なぜ中心市街地以外の場所で運行できないのか。
- ・現在は親族の協力で交通手段が確保されていても、今後、継続できるかは保証できない。

【議会において検討していくべき項目】

- ・My Ride どこでもバスの市内全域での運行については、運転手不足の問題などもあるが、地域の公共交通の在り方を含めて考えていく必要がある。
- ・地域の実情に合った地域内交通の活用が図られるよう、地域の声を丁寧に聞いていくとともに、地域の特性を活かした公共交通の在り方を研究していく必要がある。

第30回市民との意見交換会の市民意見の整理及び検討結果

議会として検討すべき 主な政策課題	持続可能な地域社会に向けた支援について		
政策分野名	(政策分野1) 子ども・子育て (政策分野36) 地域自治・コミュニティ (政策分野39) まちの拠点		
目指す姿	(政策分野1) みんなで育み、笑顔が満ちあふれた子どもが育つまち (政策分野36) 地域コミュニティの主体的で活発な活動により、強い絆のもと特色ある地域づくりが進むまち (政策分野39) 人、物、情報がつながる、賑わいと活気の創造に向けて、市民に親しまれる拠点が整っているまち		
施策名	(政策分野1) 施策1 子どもの育ちを支える取組の推進 施策3 未就学期から学齢期の成育環境の充実 施策5 障がいのある子どもたちの療育体制の充実 (政策分野36) 施策1 地域コミュニティへの支援 (政策分野39) 施策1 新市建設計画の推進 施策3 会津若松駅前の整備検討 施策2 安心な妊娠・出産、育児等の支援 施策4 子どもが安心して生活できる環境づくり 施策2 地域主体のまちづくりの推進 施策2 市役所庁舎の整備 施策4 未利用地等の利活用検討		

【主な意見】

・地区の世帯が60世帯から20数世帯に減少した。防犯灯の費用も20数世帯で支払っている。町内会に加入していない人もごみ収集所にごみを出す、ごみの分別ができず1か月間そのままだったので、私と母で分別した。町内会費は町内の3分の1の人しか払っていない。今後、3割から4割の人しか町内会に入らないと思う。無くなってしまう町内会もある。町内会だけではなく、市でも対策を考えなくてはならない。市長もごみ減量化と言っているが、町内会任せになっている。

(行仁地区) 【第2分科会】

・アパートの住人は夜や朝方にごみを出す、カラスが散らかした場合は、ほとんどが町内会町に連絡が来るため、私も困っている。これでは誰も町内会長をやりたくなくなると思う。地域をこれからどうしていきたいのか、町内会を頼るだけではなく、考えていかななくてはならない。

(行仁地区) 【第2分科会】

・他の地区の意見交換会も出たことがあるが、若い人が少ないので、広い場所で若い人を集めて意見交換会をしてはどうかと思う。そして、町内会費が集まらないことについては、他の区長から話を聞くのもよいと思う。町内会費を払わないと防犯灯が維持できず、暗いため、子どもも危ないと言って町内会費を集めたという話を聞いたことがある。

(行仁地区) 【第1分科会・第2分科会】

・神指地域にも地域まちづくり協議会の話はあったが、予算規模も小さいので組織作りは難しいし、支援員が本地区に来ることも考えづらいので、公民館職員をもう一人増やしてもらえればと考えている。区長会の担い手も不足している状況で協議会の組織作りは困難と考えている。

(神指地区) 【第1分科会・第2分科会】

・地区の文化祭が成功したのは、区長会長が熱く語り皆を一つにしたことが要因であり、地域をまとめる人や言葉が大切だと思った。区長が1年や2年で辞めることなく、長く仕事をしてもらうことが大切と考える。

(神指地区) 【第1分科会・第2分科会】

・区長を担う人も年々若くなり、勤めながら区長を行っている状況で、十分な区長活動もできない。区長の活動も簡素化することも大切ではないか。

(神指地区) 【第2分科会】

・町内会の役員が毎年変われば、地区全体でどのような事業が進んでいるのか分からなくなる。

(一箕地区) 【第2分科会】

・町内会館を建設しようとしたが、会員の高齢化や減少が進んでいることから建設後の維持管理が困難と判断し、積立金も取り崩している。町内会の合併を促すことはできないか。区長は大変だということを言っていたら誰も引き受けたくなくなる。やりがいがあることをアピールしていくべきではないか。

(鶴城地区) 【第2分科会】

・コミュニティセンターを1時間単位で利用できれば、もっと使える人が増えると思う。この利用時間を改善すべきではないか。また、午前中も使えるようにしてほしい。利用料金も統一してほしい。

(行仁地区) 【第2分科会】

・若者が市外に出て行ってしまい、各組織の担い手不足に悩んでいる。

(町北・高野地区) 【第1分科会・第2分科会】

・地域づくり委員会に参加しているが、参加者が少なく発言も少ない。どのようにまちづくりを行っていくのか、丁寧な話し合いが必要だと思っている。

(河東地区) 【第1分科会・第2分科会】

【市民意見から見えてくる現状や問題点】

- ・町内会に加入しない人が増えており、ごみの収集所の管理運営が困難になっている。
- ・役員の担い手となる年代（65歳以下）の方が減少していることで、各町内や社会福祉協議会が団体の維持に苦労している。町内会では、既存の組織の運用や組織同士の連携などにより、地域活動の継続を図る工夫を行っている。
- ・地域づくり活動を熱心に取り組む地区が増加し、地域づくり委員会を新たに立ち上げた地区がある。
- ・コミュニティセンターの利用方法について、4時間単位でしか予約ができないのでは、1時間単位で利用したい方が利用しにくい。また、利用料金については、公民館のように利用目的によって無料にできないか。

【議会において検討していくべき項目】

- ・町内会等の団体への市の関与や市から団体への各種要請など、役員の高齢化や役員の減少を念頭に入れた創意工夫を図った取組を更に検討していく必要がある。
- ・町内会単体では地域活動を維持していくことが困難になっており、行政が支援していく必要性が高まっている。行政が町内会に対してお願いしてきた取組についても、持続可能性の観点から見直す必要性があり、町内会と行政のそれぞれの役割を整理する必要がある。これまで以上に地域と行政が連携していく必要があり、議会側もそうした取組について調査、研究し、市の取組内容を精査していく必要がある。
- ・コミュニティセンターについては、利用者の要望や実態を踏まえ、より効率的な運営手法を調査研究していく必要がある。

第30回市民との意見交換会の市民意見の整理及び検討結果

議会として検討すべき 主な政策課題	防災意識の向上について
政策分野名	(政策分野26) 地域防災
目指す姿	高い防災意識と充実した消防・防災体制により、災害被害が少ないまち
施策名	施策1 災害に強いまちづくりの推進 施策2 消防力の充実・強化
【主な意見】	
・自主防災組織は、北会津地区にはまだ組織されていない。三本松地域でも作ろうとしているが進んでいない。 (北会津地区) 【第2分科会】 ・北会津地区は大きな災害が今までなかったため、危機意識が薄いと感じる。しかし、近年各地で地震や水害が起こり、北会津地区は大川、宮川などもあるので、有事の際に備え、自主防災組織を作るべきであると思う。 (北会津地区) 【第2分科会】 ・災害はいつ起こるのかわからない。川や山の近くに住んでいる方がいるが、災害が起きたときに、そのような方が安全に退避できるように住民情報の把握やインフラの点検を行っているのか不安がある。 (東山地区) 【第2分科会】 ・地域の人の中には防災に関心が低い人も一定数いる。自主防災組織の設立について地区で話をしたこともあるが関心が低く設立には至っていない。 (東山地区) 【第2分科会】 ・設立して今年で2年目になる。設立時に補助金をもらったが、今後も自主防災組織が活動していくためには補助金が重要である。 (大戸地区) 【第2分科会】 ・地区によって危機感に温度差があり、河東全体での組織化は進んでいない。 (河東地区) 【第2分科会】 ・門田地区は広範囲であるため、川のそばに住む方は河川の氾濫を、山の上に住む方は土砂災害を心配し、中心の方はあまり災害に関心が無い。 (門田地区) 【第2分科会】 ・避難場所である大町中央公園はとても大きな公園だが、夜はトイレがとても暗い。 (行仁地区) 【第4分科会】 ・東部公園にトイレがあるが、高齢の方から洋式にしてほしいと要望がある。市に伝えたが全体を考えなくてはならず、その1箇所だけ整備することは難しいと回答された。 (行仁地区) 【第4分科会】	
【市民意見から見えてくる現状や問題点】	
・住民の関心が低いため、自主防災組織の設立には至っていない地区がある。 ・災害リスクについては、同地区内でも地域によって河川の氾濫、土砂災害と不安材料が異なり、対応に苦慮している。 ・これまで大きな災害がなかった地区では、危機意識が薄いと感じる認識が示された。 ・避難場所でもある公園に洋式トイレが整備されていない。また、夜間照明がなく、暗くて危険である。	
【議会において検討していくべき項目】	
・自主防災組織の結成に向けた取組を進めるとともに、消防団員がいない町内会における災害への予防、消防の在り方について考える必要がある。 ・各町内会では世帯数に差があるため、地域防災組織を町内会単位というよりは地区、地域全体で考えていく必要がある。また、地域によって防災意識の差があるため、地域の実情に沿った防災組織の在り方について、市の方向性を確認していく必要がある。 ・自主防災組織の起ち上げに関しては、設立まで至らない地区でも議論はしており、何かよいきっかけがあれば進みそうである。出前講座などによる危機管理課の協力と、ハードルを上げずに小さなことから取り組んでいくことの重要性を今後も伝えていくことが課題解決につながっていくと考える。 ・災害等が発生した場合の一時的な避難場所について、洋式トイレや照明等の整備が必要と考える。	

2. 市民意見の内容

＜議会報告、市政全般（地区別テーマを含む）について＞

第30回市民との意見交換会 議会報告、意見交換における地区別の総括

班	地区	内 容
1 班	一箕	① 9月定例会議について 特になし。 ② 市政全般（市のまちづくりに向けた課題）について 民地の駐車場付近から出る漏水への対策について、複数回の訴えがあったが解決していない。当事者と話し合いを行い、納得はしていただけなかったが、理解していただけました。 ③ 主な地域課題 農業従事者が一箕地区で営農するため、アイズライスの作付けを希望しているが、叶えることが困難となっている。
	河東	① 9月定例会議について 特になし。 ② 市政全般（市のまちづくりに向けた課題）について 河東学園の児童・生徒の送迎について、南高野集落内にある東側の道路は、北側から南側の県道会津坂下河東線に向かう途中の丁字路が狭く、事故の危険がある。集落と学校、保護者が話し合いをして解決していただきたい。このことは合併前の旧河東町時代の課題、問題であり、記録があるのか不明。 ③ 主な地域課題 自主防災組織づくりを切り口に現状と課題について話を聞いた。参加者とは、問題認識について深まらなかったが、現状を知ることができた。
	湊	① 9月定例会議について 特になし。 ② 市政全般（市のまちづくりに向けた課題）について 共和・赤井地区は風力発電の全体計画そのものに反対しているわけではない。居住エリア付近での開発についてだけ反対していることを理解してほしい。土砂災害特別危険区域に指定されていることや、水源地区にも近いことから影響があるのではないかと心配している。 市に許認可権がないのは充分理解しているが、事業者で準備書類を作成している段階に来てしまっているの、なし崩しの事業が進んでしまうことを恐れている。首長から強く反対してほしい。 ③ 主な地域課題 特になし。

第30回市民との意見交換会 議会報告、意見交換における地区別の総括

班	地区	内 容
2班	謹教	① 9月定例会議について 決算審査では、学校施設のプール等の修復に関する意見や質問、内水氾濫への対応への質問が出された。 ② 市政全般（市のまちづくりに向けた課題）について 県立病院跡地の活用、特認校制度と不登校生徒への対応、背炙山の風力発電についての質問や意見等が出された。 ③ 主な地域課題 町内会の重要性や役割について、市民に広く知られていないことが問題。 子どもが少なくなったとはいえ、地域に子どもがいるのにこども会がなくなって、提灯行列などの楽しい催しに参加できなくなっているという実態がある。
	鶴城	① 9月定例会議について 特になし。 ② 市政全般（市のまちづくりに向けた課題）について 第二中学校に接する南側の自転車専用道路（市道幹Ⅰ-11号線の北側部分）における安全確保策。 ③ 主な地域課題 役員の担い手となる年代（65歳以下）の方が減少していることで各町内が苦労している。しかし、既存の組織の運用や組織同士の連携などにより、地域活動の継続を図る工夫を町内会として行っている。このような現状において、町内会等の団体への市の関与や市から団体への各種要請など、役員の高齢化や役員の減少を念頭に入れた創意工夫を図った取組を更に模索しなければならない。
	神指	① 9月定例会議について 庁舎整備と財政、学校施設の個別計画、道路整備の精査について、説明を求める質疑があった。 ② 市政全般（市のまちづくりに向けた課題）について 道路整備状況とスマートシティの現況についての質疑応答があった。 ③ 主な地域課題 地域づくりに係る担い手不足。人口減少や交通手段の確保。

第30回市民との意見交換会 議会報告、意見交換における地区別の総括

班	地区	内 容
3班	東山	① 9月定例会議について 特になし。 ② 市政全般（市のまちづくりに向けた課題）について 背炙山への風力発電建設に対し、議会として積極的に考えるよう意見があった。東山温泉事業者からは、ごみ減量につながるよう、提供した食事の持ち帰りについて、保健所の理解と協力が必要との提案があった。 ③ 主な地域課題 背炙山への風力発電建設については、今回も一般市民から懸念が示されたほか、東山温泉事業者からも、人工構造物建設による温泉への影響が想像できないとの不安の声が出された。
	門田	① 9月定例会議について 扇町と松長地区で試行的に実施している面的除雪について、どのような取組をしているのか質疑があった。 ② 市政全般（市のまちづくりに向けた課題）について 町内会活動や市のイベントへの関わり等について、地域が広範囲にわたる門田地区ならではの課題が示された。 社会福祉協議会と取り組む間口除雪についても、人員不足で体制が維持できなくなっているとの課題も示された。 ③ 主な地域課題 門田地区は地域が広範囲にわたるため、地域により実状が異なり、地域特性を生かした取組が求められる。市が主催のイベントにも地域で関わることが多いが、活動できる人員が少ない。 災害リスクについては、同地区内でも地域によって河川の氾濫、土砂災害と不安材料が異なり、対応に苦慮している。
	大戸	① 9月定例会議について 面的除雪の取組やメリットなどについて質疑があった。また、大戸小学校、中学校が小規模特認校になったことで、地区外から通う児童生徒への通学援助の考え方等について質疑があった。 ② 市政全般（市のまちづくりに向けた課題）について 人口減少が進むことで、学校行事や地域の行事に参加できる人が少なくなっているとの意見や、定年年齢が引き上げられたことで、区長をはじめ、地域の役員の担い手を見つけることも難しくなっている現状について、意見が出された。 ③ 主な地域課題 人口減少が進み、学校行事や地域の行事に参加できる人が少なくなっている。区長をはじめ地域の役員の担い手を見つけることも難しくなっているため、大戸のまちづくり協議会の取組が重要になってきている。

第30回市民との意見交換会 議会報告、意見交換における地区別の総括

班	地区	内 容
4班	城北	① 9月定例会議について 予算審査と決算審査関連等についてやや多く時間をかけてしまったが、参加者からは「議会の取組を知ることができて良かった。」と感想を頂いた。広報議会が読みやすくなったと好評価をいただいた。 ② 市政全般（市のまちづくりに向けた課題）について 今後の水道料金や新庁舎に対する期待感、子どもや若者に対する施策の在り方などについて意見が寄せられた。文化系部活動の地域移行について現場で働く高校の先生から質疑、提言等があった。 ③ 地域課題 国道49号を東進する車が上荒久田交差点を右折して、石堂町に多く進入してくるようになったため、地区内の交通量が増え危険が増している。
	行仁	① 9月定例会議について 広報議会の公営企業会計の決算ページについて、水道と下水道の資本的収支の収入と支出のバランスはこれでよいのか。もっとわかりやすく書いてほしい。 県立病院跡地に商業施設はできるのか。マーケティング、ヒアリングはきちんとされているのか。 ② 市政全般（市のまちづくりに向けた課題）について 町内会での区長の役割が大変である。このままでは担い手がいなくなるのではないかと。町内会の今後を町内会にまかせるのではなくちゃんと市で考えるべき。 ③ 主な地域課題 役員の担い手不足、町内会に未加入の方とのつながりづくりとごみの出し方の問題、公園のトイレについて、今後のコミュニティセンターの在り方。
	町北 高野	① 9月定例会議について 特になし。 ② 市政全般（市のまちづくりに向けた課題）について 会議全体を通じて、地域のつながりを強化し、様々な課題に対応していくことの重要性が確認された。 ③ 主な地域課題 少子高齢化が顕著に現れているため、地域づくり協議会や地域おこし協力隊との連携が今後の鍵となる。

第30回市民との意見交換会 議会報告、意見交換における地区別の総括

班	地区	内 容
5班	城西	① 9月定例会議について 不登校児童生徒について質問が出された。 ② 市政全般（市のまちづくりに向けた課題）について つながりづくりポイント事業の予算より、社会福祉協議会への予算を増やすべきではないかとの意見が出された。 ごみ減量化に対する関心の高さがうかがえた。特にキエーロについては様々な実践内容を聞くことができた。 ③ 主な地域課題 不審者が増えている町内もあり、防犯カメラの必要性について意見が出された。 My Ride どこでもバスや公共交通について、子育て世代からの関心が高まりつつある。 地域の後継者、担い手不足については、意見は少なかったものの、参加者が認識する共通の地域課題であった。
	日新	① 9月定例会議について 特になし。 ② 市政全般（市のまちづくりに向けた課題）について スマートシティ会津若松の取組が、高齢者を中心として浸透していないという意見が出された。 避難所における連絡手段の確保、地域コミュニティづくりに向けて学校の余裕教室の活用等といった提案や人口減少対策などの意見が出された。 ③ 主な地域課題 町内会役員の担い手不足や高齢化が大きな課題であり、地区行事もかろうじて開催でき、人出もあるものの、将来に向けてはその継続が心配である。防災時における避難所の充実を図ることも課題として捉えている。
	北会津	① 9月定例会議について マイナンバーカードと健康保険証が一体化にすることについて、高齢者等に不安が広がっているという意見が出された。 ② 市政全般（市のまちづくりに向けた課題）について 町内会に加入していない方への市政だより等の配布などの実態や、川南小学校のアスベストへの対応、子どもの森の斜面に“桜の木”が植えてあることに対する意見が出され、公園の除草等を町内会等に委託した場合の委託料の支払い先が個人になっていないか、といった質問が出された。 ③ 主な地域課題 北会津地区は、これまで大きな災害がなかったためか、危機意識が薄いと感じる認識が示された。 今後は、自主防災組織を結成に向けた取組を進めるとともに、消防団員がいない町内会における予防、消防の在り方について考える必要がある。

【第1分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
財政	財政状況	2班	神指	新庁舎建設で多くの費用がかかると思うが、来年度には完成する状況にある。このことで市の財政負担は軽減されると考えるが、見通しを教えてください。	庁舎は来年の5月から供用開始予定となっており、建設費用は約103億円かかる。建設費は今までの貯金である庁舎整備基金と合併特例債等の有利な借金を活用している。今後、10年程度で借金の返済を行うことになるので、来年度以降、今までより財政に余裕ができることにはならない。今後も財政状況は厳しいと考える。
財政	財政状況	2班	神指	庁舎建設の費用については、長期計画で実施されているのが良く分かった。	しかしながら、令和5年度における9月決算においては、単年度の収支は2億円程度の黒字となっており、健全財政は保たれている状況にある。
財政	財政調整基金	1班	河東	会津若松市は第2の夕張市になるはずだったのに、河東町と合併したおかげで破綻を免れた。財政が多少なりとも良くなったのであれば、河東町への補助を引き上げるべきだ。	当時、多くの自治体は財政健全化に向け市町村合併を行ってきた。市民への補助については、特定の地域ではなく市全体のバランスを考えて実施していくことになる。
広報	市政だより	5班	城西	市政だよりと同時配布するチラシ等が多すぎるという意見が出たので、市に伝えたことがあるが、最近は3種類くらいになってきているので非常に分けやすい。できるだけ市政だよりの中にいろんな情報は入れてもらえると配布物が一つになるので、非常にいいと思う。	他の地区の区長からもそういったご意見が寄せられている。
広報	広報	4班	城北	来年5月から市役所本庁舎が新しくなる。ワクワクする気持ちであるが、新しい市役所本庁舎の宣伝を今からもっとすべきだ。	1階部分には多目的スペースとして、歴史・観光・イベントなどの発信を行ったり、市民活動の場として利用できるあいづっこプラザを予定している。 宣伝については、ご意見として伺う。

【第1分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
行政	人口問題	2班	神指	人口の流出を食い止めるために、市に転入して結婚する人には手厚くしているが、市民同士には何もないのはおかしいのではないかな。結婚者に奨励金を支給する取組があると聞いているが、どんなものかな。	市外から転入し、結婚して支援金を受けている人はあまり多くなかったようだ。人口流入にはしっかりとした子育て支援などの方が効果があるのではないかなと思う。
行政	人口問題	3班	大戸	現在、少子化が進んでいる。高校を卒業すると多くの子どもが市外に出ていってしまい、地元に戻ってこない。市内に大きな企業があれば、子どもたちも地元で就職し、地元に残ることができるかな。現在、芦ノ牧温泉にある旅館で従業員が不足しているため、毎日営業できないなど、人材不足が大きな問題になっている。議会は人口減少についてどのように考えているのか。	市も議会も、少子化や人口減少は、市が直面している大きな問題であると認識している。 また、若者が地元に残り就職できる環境を目指し、企業誘致や工業団地の整備等の事業を進めていると認識している。 現在、様々な業種で人手不足の状況にある。人口減少対策の観点からは、工業団地への企業誘致だけでなく、様々な分野での人材確保が必要であると考えている。
行政	人口問題	5班	日新	人口減少対策として、将来の人口目標を設定し、それに向けた取組を進めるべきではないかな。 首都圏より官公庁を移転させ人口増を計る。郡山市程度の人口規模にしたい。	10万人程度の人口を維持する目標を掲げている。 官公庁等の移転については、ご意見として伺う。
行政	人口問題	5班	日新	会津に総合大学を立地するなど、そういう思いのある議員はいないかな。山形県米沢市は、会津若松市の半分程度の人口規模に関わらず、大学が2つある。	ご意見として伺う。
地域経済	事業者支援	5班	日新	市はスマートシティを掲げているが、ICTを身近に感じない。 先日、町内にICT企業が店舗を開設した。市内の物件をかなり探したが、断られるケースが多く、30軒目くらいで決定したそうである。空き家活用等においては、こうした事業者に対しての支援も必要ではないかな。	不動産関係事業者等と連携しながら、こうした事業者へ一定の支援をしているが、引き続き課題として認識していく。

【第1分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
地域社会	-	1班	一箕	飯盛山の参道付近にある駐車場の地面から漏れ出した水の処理について、市民との意見交換会で過去2回課題があると発言してきたが、現在も解決していない。土地の所有者に連絡をしたが解決しない。冬期間は歩道にも薄い氷が張り、足を滑らせる方がいる。議会で取り上げていただけないのか。	地下水が漏れているのは民地である。この問題について、議会にどうしてほしいのか。
地域社会	-	1班	一箕	飯盛山の参道付近にある駐車場の地面から漏れ出した水の処理問題を解決していただきたいので、直接議会から土地所有者に伝えてほしい。 この意見交換会の報告書に記載していただければよい。	議会としては、このような件について市民や事業者に対して伝えることに限界があることを理解してほしい。 議会としては、第30回市民との意見交換会（一箕地区）において、過去2回も含め、飯盛山の参道付近の駐車場の地面から漏れ出した水について、近隣住民が大変迷惑し、処理に困っているという意見があったことを報告書に記載する。
地域社会	子ども会	2班	謹教	うちの地区でも小学生は住んでいるが、こども会はなくなった。会津まつりの提灯行列には、こども会でないと出られないので、隣の町内会のこども会と一緒にすることになったが、今回は雨で中止になって残念だった。参加の仕方がなんとかならないのか考えている。	おっしゃるとおりで、提灯行列には町内会のこども会に入っていないと出れないが、一番の問題は保険の対応である。 以前から子どもはいるのに、こども会はなくなって、こども会に入っている子どもと入っていない子どものお祭り等への参加など、様々な問題があることは議会としても認識している。今回そのようなご意見があったことを受け止める。
地域社会	地域コミュニティ	5班	日新	前段で述べた地域の拠点及び集まれる場所づくりについて、学校の空き教室や体育館等を活用できないか。市内の中心部に集まるのではなく、各地域に拠点を作りコミュニティーを形成すべきである。	学校の空き教室はあまりないと聞き及んでいるが、空き教室があれば、地域へ開放をしたい学校もあるようである。 県立病院跡地や市役所栄町第二庁舎等を市民活動や子育てに利用できる施設が設置される。

【第1分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
地域社会	地域コミュニティ	5班	日新	子どもの居場所づくりに取り組む施設が町内に引っ越してきた。町内会としては町費を免除している。市としても支援が必要ではないか。 以前町内にあった施設は、町費を請求していたが、請求以上に支援をしてきた経過にある。 また、現在は地区社会福祉協議会を設立し、様々な支援活動を行っている。	各地域にある地域学校協働本部において、朝の見守りや放課後等の居場所づくりをボランティアで行っている。市の支援については、ご意見として伺う。
地域社会	地域コミュニティ	5班	日新	プライベートやプライバシーが重視され、コミュニティが構築できない。日本の良さを再認識・再構築すべきではないか。町内会も担い手がない。	町内会の役員等を担う人材不足については、他の地区からも意見が出されている。ご意見として伺う。
地域社会	地域コミュニティ	5班	日新	この地域には、毎年7月1日に姥母尊（おんばさま）のお日市がある。これを皮切りに市内の各所でお日市が開催されており、昔ほどのにぎわいはないが、ある程度人出がありにぎわっている。 実行委員会により開催しているが、携わる人は、高齢者がほとんどであり、人数も減少してきている。昼間は子どもたちのイベント等を開催し、にぎわいを作り、夕方以降は家族連れ等でにぎわっているものの、採算はとれていない状況である。	こうした取組には敬意を表したい。コミュニティの維持、担い手不足等については、大きな課題であると認識している。
地域社会	地域コミュニティ	5班	日新	町内会内のコミュニティについて、当町内会は半分が戸建て世帯、半分がマンション世帯であり、マンション世帯との付き合いは薄く、また戸建て世帯は高齢化が進んでいるため、ほぼコミュニケーションがとれていない状況もある。	地域でのコミュニティの維持については、重要な課題と認識している。

【第1分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
地域社会	コミュニティセンター	4班	行仁	まちづくり協議会をやっているが、活動場所がないという問題がある。公民館とコミュニティセンターでは、利用料金や運営方法などが違う。コミュニティセンターでは、4時間単位での使用となっている。 百歳体操も1時間で終わってしまうので、1時間単位で利用できれば、もっと使える人が増えると思う。この利用時間を改善すべきではないか。また、午前中も使えるようにしてほしい。利用料金も統一してほしい。	コミュニティセンターは地区で運営されていて、市の委託料があっても光熱費や除雪料で使い終わってしまう。これ以上、人も雇えないという状態である。午前中に開いたこともあるが費用対効果が出ず、午前中を閉めているコミュニティセンターが多くなっている。 利用料金面では、公民館は社会的教育での使用となるので安いですが、コミュニティセンターは委託料で運営していることもあり、収益がなくてはならない。今、そういう課題に直面している。
地域社会	コミュニティセンター	4班	行仁	私は行仁コミュニティセンターの管理をしている。行仁コミュニティセンターは、午前9時から午後5時まで希望があれば全て開けている。他のコミュニティセンターは月曜日が休館日だが、行仁は正月だけが休館日。きれいに修繕してもらったことと、駐車場が10台置けることになって広域に利用者が増えてきた。1時間単位で使用できるようになればいい。公民館は団体登録すると無料だが、コミュニティセンターでも学びはあるので無料にできたらよい。	ご意見として伺う。

【第1分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
地域社会	地域活動	1班	湊	私は農業法人を運営している。今、湊の田畑がきれいなのは、農業している人がいるからだと思う。そういう人がいないと荒れるだけ。湊の人は商売っ気がない。私は70歳近くになるが、なんとか農業を守らなくてはならないと思っている。 現在、湊に残っているのは長男が多い。農家の息子だから、少なくとも農家に関わる仕事をしてきたが、私の息子は農業をしたことがない。そこで、これからの湊地区は、若い力で開拓していくようになってほしいと思うが、このことを話す機会がない。昔は、消防団との会合後に話をしていたので、若者と話をする場があった。今は、会合が終わると帰ってしまうので、若者と話をする機会がない。個人的には話をしているが、みんなと集まって話合いをする場が少なくなっている。これからは、若い人からも話をしてほしい。	若い人はどのくらいいるのか。
地域社会	地域活動	1班	湊	私も農業法人を運営しているが、若い人がなかなかいない。農業を仕事にして生活してほしい。農業に将来の希望を持ってもらいたいと思う。農業経験がない若い方に、農業は楽しいと知ってもらいたい。	

【第1分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
地域社会	地域活動	1班	一箕	一箕地区ひとみ創造ネットワークを5月30日に設立した。その後、毎月1回程度の頻度で会議を開催している。 組織の主体として、一箕地区文化祭実行委員会などの各種団体の方々に呼び掛け、町内会の方々にも参加を募集した。一箕地区は、地域活動が活発に行われている。 一つの例として、最近開催した文化祭は、実行委員会方式で運営され、約200名が参加した。メンバーにも恵まれ、楽しく運営している。 会議では、一箕地区の将来について参加者の思いや要望、意見などを話し合ってきた。その中では、将来への思いや現在の課題、問題が出されている。会議には、毎回約40名参加していただいている。	会津若松市では、各地区で地域づくりが行われている。うまくいっているところと、課題問題を多く抱えているところがあるようだ。一箕地区では、今後まちづくりの計画である地域づくりビジョンが作成されると聞いている。一箕地区の歴史や伝統、文化を大事にしながら、今後どのような方向性で活動されるのか教えてほしい。
地域社会	地域活動	1班	一箕	一箕地区には大塚山古墳を含めた長い歴史があり、観光地である飯盛山がある。また、小学校が2校、中学校が1校、高校は県立と私立があり、公立大学法人の会津大学がある。そして、人口は約2万人で会津若松市の中で1番住みやすい。今後も、安全、安心な町であればよいと願う。	ご意見として伺う。

【第1分科会】 ○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
地域社会	地域活動	1班	一箕	私の地域づくりビジョンに対する思いは、安心、安全に暮らせる一箕町を目指すこと。そのためにICTを活用し、ICTでつながる一箕町をつくりたい。 例えば、携帯電話やタブレット・PC、そしてSNSを利用すること。情報発信することで、つながりが広がっていくと考える。さらに、地域の方々に必要な情報を届けることもできる。	湊地区と大戸地区には、ICTを使った情報網ツールが導入されている。テレビやタブレット・PCを利用した取組として、健康や地域行事の情報発信、その後の映像や写真の記録を見ることが可能。こうした取組が各地に広がると良いと考える。
地域社会	地域活動	1班	一箕	一箕地区では、高齢者を対象にスマートフォン教室を開催した。情報を得るための道具として、スマートフォンを使えるだけでも活動の幅が広がる。そうした地区になってほしい、そうした事例を地域づくりビジョンに入れていきたい。	安全、安心な地区をつくるためにデジタルを活用すること、それが可能であるとのご意見だった。

【第1分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
地域社会	地域活動	1班	一箕	一箕地区ひとみ創造ネットワークのワークショップを5回開催し、現在まとめの段階になっている。これまで出された意見では、一箕地区の地形の特徴である標高差について、会津若松駅付近は海拔約200メートル、金堀地区は約350メートルあり、移動手段や自然環境が異なることが課題、問題として挙げられている。 最近、鳥獣被害について話していたが、熊や猪からの被害もある。子どもたちの通学路にも関係あるので、専門家を呼んで会議を開催した。 また、役員体制も課題で、56ある町内会のうち、1、2年で区長が変わる町内会もあり、数年間継続している町内会もある。毎年役員が変われば、一箕地区全体でどのような事業が進んでいるのか分からなくなる。 今後については、役員体制も含め、地区の中での課題解決に向けて取り組んでいく。	ご意見として伺う。
地域社会	地域活動	1班	一箕	私は、一箕町の特に坂道を利用したイベントの開催を考えている。交流人口を増やすために、例えば旧滝沢峠を利用した自転車の大会開催を考えている。自転車は、いわゆるママチャリでもよい。全国から参加者を募集する等により、面白い企画になると思っている。	旧滝沢峠は、会津藩が参勤交代で利用した街道だった。坂道を利用するのは面白い。やりたいことを皆さんから出していただき、様々な企画を取り上げることもよい手法だと思う。

【第1分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
地域社会	地域活動	1班	湊	湊もち・そばまつりを11月10日に開催した。参加者が約230名だったが、スタッフ50名で対応した。湊地区全戸や公民館、コンビニなどに開催チラシを配布した。 当日は、原地区の3名が民謡を歌い、参加者に餅をついてもらったりした。参加者アンケートには、参加費2,000円で餅や蕎麦、天ぷらを食することができ満足だったと回答があった。	私は、10日に参加した。湊もち・そばまつりは大盛況だった。参加者に話を伺うと、市外から参加した方が大半のようだった。手伝いの募集はどのように行ったのか。
地域社会	地域活動	1班	湊	赤井大イチョウ夜会については、若者の団体である「ルート294湊翔会」が開催した。11月2日は雨が降っていたが、約50名が参加者した。3日は日曜日だったが、17時には駐車場が満車になっていた。 区長会長の提案で、赤井地区の住民が豚汁を振る舞った。フィリピンや県内外からの方なども参加していた。	
地域社会	地域活動	1班	湊	湊には、NPO以外にも、各種団体があり、参加していただいている。若者の団体である「ルート294湊翔会」は、夕方からの赤井大イチョウのライトアップがあるのに、日中は湊もち・そばまつりも手伝っていただき助かった。	各地区から手伝いに来てもらったと思うが、他にはどのようなことを手伝ってもらったのか教えていただきたい。
地域社会	地域活動	1班	湊	交通安全協会は駐車場の整理係をした。参加者からは、まつりについて、「孫と参加した」「夫婦で来て、そばがおいしかった」「湊もち・そばまつりはやっているところがない、湊はすごい」「湊もち・そばまつりの周知が不十分。開催案内などの看板があったらよい」などの声や、「農作物販売では、白菜が300円で安く買えた」などの声をいただいた。来年も交通安全協会は参加する。	先日の打ち合わせで、若い方が移住されたとの説明があった。本日参加されているので、話を聞きたい。

【第1分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
地域社会	地域活動	1班	湊	笹山原に移住してきて、湊もち・そばまつりにも県外の友人と参加した。移住して気づいたことは、地区には、食堂がなく、コンビニは1軒しかない。 私が移住した理由は、地区の活動を民間主導でしていたから。また、自然が豊かなことも魅力的に感じる。福島県内でも一番ではないか。那須や日光にも負けないのではないかなと思う。 歴史文化だと、戸ノ口には白虎隊戦場があり、湊の地名の語源となる船着き場がある。歴史だけでも魅力を感じる。 また、地元の方が危機感を持ち活動しているところも魅力を感じる。そして、湊だからこそできるものがあると思う。 県外から150人ほどの友人が宿泊したが、宿泊所が少ないので、キャンプしている。市街地で食事し、一人あたり少なくとも5万円の消費で、全員で750万円ほど消費した。本来なら湊で消費してほしかった。	湊地区の魅力について語っていただいた。皆さからも感想や話したいことがあれば発言してほしい。
地域社会	地域活動	1班	湊	笹山原は、湊地区の中でも吹雪がひどい。また、湊に長年住んでいると魅力的な場所と思うことができなくなってくる。私は隣の集落に住んでいるが、応援する。	移住の方々と対話や交流をしたいことについて、どう思うか。
地域社会	地域活動	1班	湊	集落ごとに交流する機会はない。私の集落では若い人が2人いるが、話をする機会がない。	もう一人若い移住者で、今年から湊地区の地域おこし協力隊になった方が参加しているので、お話を伺いたい。

【第1分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
地域社会	地域活動	1班	湊	移住してきた先輩の紹介で湊を知り、2か月で移住を決断した。湊の魅力は、2つある。 一つ目は、なんでもある町だなというところ。以前、郡山駅前に住んでいたが、人工の構造物があるだけだった。湊は自然が豊かで、長年かかって作った物があふれている。 二つ目は、私はカメラ関係の仕事をしているが、魅力的な町なので多くの方に伝えたいと思える情報があふれている。これからは、湊の情報を発信していきたい。	映像配信や湊町のフォトコンテストなど、情報を発信してほしい。 また、奥会津には若い方が増えてきて、中には議員になっている方もいる。応援したいと思う。
地域社会	地域活動	1班	湊	移住してきて、今年はそばをつくったが、農業を始めるのは簡単ではなかった。市の農政課で具体的な申請の手続きをする際、農業に従事したことがなく、具体的記載の品名、使用する肥料の記載をどのようにすればよいか分からなかった。 また、そばの収穫後に収入と支出を計算し、どのくらい耕作面積があれば生活できるのかを考えると、農業を維持するのは難しいと感じた。農業の初期費用も高額だった。	本日は、移住してきた方や湊地区の方の考え方等を聞くことができた。これからも意見交換会を通し、地域づくりを考えていきたい。
地域社会	地域活動	1班	河東	私も地域づくり委員会に参加しているが、参加者が少なく発言も少ない。どのようにまちづくりを行っていくのか、丁寧な話し合いが必要だと思っている。参加者と発言を増やすことが重要と考える。	ほかに取組についての意見や考えがある方はいないか。
地域社会	地域活動	1班	河東	地域づくり委員会でも財源の問題がある。例えば、地域コミュニティバスみなづる号は、乗車する方が少ないので無料にすべきと発言している。河東地区は高齢化が進んでおり、無償化すべきであると考えます。	地域づくり委員会の中でも意見を深めてほしい。

【第1分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
地域社会	地域活動	2班	謹教	町内会と地区社会福祉協議会は違うと思うが、東山地区社会福祉協議会など、うまくいっているところはどのようなことをしているのか。	東山地区社会福祉協議会がうまくいっている要因については、いまお答えはできないが、東山地区社会福祉協議会の事務局は第一包括支援センターにあり、がんばっていると考えている。
地域社会	地域活動	3班	門田	地域運営組織とは何か。	市ではなく、地域の方が自主的に組織している団体のこと。町内会単位ではなく、もっと広い範囲で捉えて、町内会でできないことをどのようにしていくのかについて、広い地域で考えていく組織のことである。
地域社会	地域活動	3班	門田	高齢福祉課が窓口となり、「地域創成ソフト事業」の事前調査があった。小テーマは「健やかコミュニティモデル地区育成事業」。門田地区は地域が広範囲にわたるため、市等が主催する鶴ヶ城ハーフマラソン大会など地域的に関わるイベントも多い。 また、9月以降は敬老会や文化祭、緑地公園の祭りイベントが重なり人手が足りない。町内会役員の担い手もおらず、町内祭りの旗立ても一苦労。高齢者や若い女性が参加しやすくなるよう、「地域創成ソフト事業」を生かしたいと考えている。	ご意見として伺う。
地域社会	地域活動	4班	町北高野	個人情報の取扱いについて、老人ホームに入居する等で自宅を離れる際、区長には連絡が来ないか、事後連絡で来ることが多い。状況を把握しておきたいため市に相談したが、個人情報が壁となり教えてもらえない。	他の地域では自主防災組織を結成し、訓練等を行うことによって各家庭の状況を把握している。
地域社会	地域活動	4班	町北高野	若者が市外に出て行ってしまい、各組織の担い手不足に悩んでいる。	ご意見として伺う。

【第1分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
地域社会	町内会	1班	一箕	藤原地区のごみステーション設置について、私の家の周辺には高齢者が多く住んでいるが、ごみステーションまでの道のりを休みながら、重いごみを運ぶ高齢者もいる。扇町4号公園ができる前はごみステーションが近くにあったが、廃止された。ごみステーション設置の要望を出したが、規則で設置できないと回答があった。 もっと高齢者に優しくしていただきたい。近所の方々とは、近くにごみステーションが増設されると、少し楽になるのではないかと話している。	ごみステーション設置は、もう少し住民の意向に寄り添って考えてほしいとのご意見だと思う。 ごみステーションについては、そこに住む皆さんで話し合い、町内会の役員と協議をして、ごみステーションを市に要望すれば認めることになるかと認識している。ぜひ町内会長や役員に話をしてほしい。
地域社会	町内会	2班	謹教	町内会の役員の方ではなく、一般の市民の方々の中では、町内会や自治組織の役割や必要性について、日常的にはあまり考えていないと思う。	貴重なご意見として伺う。
地域社会	町内会	2班	謹教	町内会の役員のなり手不足があるといわれているが、うちの地区ではやりがいを感じて引き受けていただいている方が多いと感じている。どの町内にもそのような方はいると思う。	貴重なご意見として伺う。
地域社会	町内会	2班	鶴城	鶴城地区には30もの町内会があるが、それぞれの規模が違う。役員の担い手を募集するが、65歳くらいまでは働いている人が多いので、65歳以上の人に継続的に長い期間声掛けをしている。	現状として伺う。
地域社会	町内会	2班	鶴城	自分の町内は38世帯しかない。50歳代の方2人に役員要請の声掛けを続けているが、50歳代で声を掛けられるのは2人しかいないというのが現状。	
地域社会	町内会	2班	鶴城	町内会の合併を促すことはできないか。	各町内会の自主性を尊重することが前提となる。

【第1分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
地域社会	町内会	2班	鶴城	城前4地区（町内会）連合の芋煮会を今年では中止したが、神社祭礼を4地区連合で新たに行うこととした。オの神も4地区連合で行うこととしている。 また、新年会は4地区連合で実施している。	現状として伺う。
地域社会	町内会	2班	鶴城	毎年学校の夏休み期間中に実施している、こども会主催の花火大会が今年では実施できなかった。理由を確認すると、人手不足により実施できなかったとのことから、来年からは区長会として実施できないかという考えもある。 各団体の連携を取れるようにしていきたい。	
地域社会	町内会	2班	鶴城	声掛けはしているが役員の担い手がなかなかいない。 単身高齢者が多いため、町内会行事の実施はなかなか難しいが、工夫しながら実施している。 今年の芋煮会には30人ほど集まった。	現状として伺う。
地域社会	町内会	2班	鶴城	町内会館に人が集まり、団らんできるようにテレビなどを設置できないか。	一般論として、コミュニティ助成事業などの市の助成制度を活用してほしい。 また、どのような方法があるかなどは、4地区連合の代表の方などで市と相談してほしい。
地域社会	町内会	2班	鶴城	町内会館を建設しようとしたが、会員の高齢化や減少が進んでいることから建設後の維持管理が困難と判断し、積立金についても取り崩している。 町内にA i c tがあることから、その建物を活用している。	現状として伺う。
地域社会	町内会	2班	鶴城	「区長は大変だ」ということを言っていたら誰も引き受けたくなくなる。 「やりがいがある」などとアピールしていくべきではないか。	ご意見として伺う。

【第1分科会】 ○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
地域社会	町内会	3班	東山	今回、町内会で役員を決めるのに何か月もかかった。高齢化や地域に対する考え方も変化してきていると感じる。市内では、町内会がなくなったところもあると伺っている。そのような場合、市政だよりの配布など、どのようになるのか。	行仁地区で2つの町内会がなくなった。市政だよりにについては、近くのコミュニティセンターに各世帯が取りに行っていると聞いている。 また、一箕地区では、区長が決まらなかったケースがあった。区長が決まらなかつた市からの補助金も支給できない。市に登録せず、自治会として継続しているケースもあるようだ。

【第1分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
地域社会	町内会	4班	行仁	うちの地区の町内会は、空き家の増加とアパートがあるため、60世帯から20数世帯に減少した。 防犯灯の費用も60世帯で支払っていたが、今は20数世帯で支払っている。今はLEDでないといけなので、改修費がかかる。 町内会費は町内の3分の1の人しか払っていない。町内会に加入していない人もごみ収集所にごみを出す、ごみの分別もされていないので、回収されない。1か月間そのままだったので、初回は市で分別してもらったが、2回目は私と母で分別した。今後、3割から4割の人しか町内会に入らないと思う。無くなってしまった町内会もある。そうなると防犯灯なく、も真っ暗になる。町内会だけではなく、市でも本気になって対策を考えなくてはならないと思う。市長もごみ減量化と言っているが、町内会任せになっている。	貴重なご意見。やはり地域の中には防犯を心配されてる人もいます。子どもだってそうだ。それを守るお金がないというのは問題。
地域社会	町内会	4班	行仁	6軒あるアパートの管理人からは、町内会に入るのでごみ収集所を使わせてほしいと言われた。役員にはならないし、祭りも参加しないと言われたが、町内会費を払うだけでも良しとした。 また、他のアパートの管理人からは、ごみ収集所を作る際に区長の押印が必要なため、町内会に加入するから押印がほしいと言われた。しかし、押印した後で町内会には加入しないと言われたこともある。他は下宿なので最初から加入していない。リサイクルごみの回収箱も役員で設置するが、ペットボトルが山ほど出る。町内会の人たちが準備しているからペットボトルも出せるんだとわかってほしい。特に下宿しているところから出る。リサイクルするだけいいのだが。	

【第1分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
地域社会	町内会	4班	行仁	町内会への加入、未加入については、学生の問題というか、大家の問題ではないか。そういう人たちがもっと参加意識をもつべきではないか。 私は、4月から地域づくり課の地域おこし協力隊になった。地域づくり協議会に参加して、このような話を聞いて具体的に一個一個進めて行かないと前に進まないと思っている。一度、大家や町の人に言ってみて、どのような答えが返ってくるか。そして、それに対してどう対応していくか。一回動かないと先に進まないと思う。 先ほどのコミュニティセンターの件もそうだが、今回初めて公民館とコミュニティセンターの違いを知った。1時間だけは借りることができないことも知らなかった。ホームページでの発信や、高齢者がそれにどうアプローチするかは、また考えなくてはならない。1時間単位などで借りることができたら、もっと多くの人が利用してくれるし、もっとたくさんの方のコミュニティの輪が広がると思った。4時間単位でしか利用できないというのがすごくもったいないと思った。	町内会は市民部の環境生活課の住民自治グループが担当しているが、中心市街地も似た現状になりつつある。また、中心市街地ばかりではなく、教育委員会だと、PTAに入らない。だからPTA会費を納めないということもある。また、学校でも支援が必要な児童の支援員が足りない。高齢者の見守りも、大雨が降った際には、近隣住民で見守ってほしいなど、所管委員会でも議論していく。
地域社会	町内会	4班	行仁	アパートの人は夜からとか朝方にごみを出す、カラスにやられてしまう。カラス除けの網は渡してあるが、散らかっている場合は、町内会で掃除をしなくてはならない。私の地区はごみ収集所が6から7箇所もあってそのほとんどが町内会町に連絡が来るため、私も困っているし、これでは誰も町内会長をやりたいかなくなってしまう。地域をこれからどうしていきたいのか、町内会を頼るだけではなく、もっとよい会津若松市にするために考えていかなくてはならない。	

【第1分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
地域社会	町内会	4班	行仁	他の地区の意見交換会も出たことがあるが、若い人が少ないので、広い場所で若い人を集めて意見交換会をしてはどうかと思う。 そして、先ほど出た町内会費が集まらないということについては、私の同級生が北滝沢の区長を何年か前にやったというので話を聞いてみた。 アパートの住人からは町内会費を集められないのかと聞くと、アパートは200室あったが、全員からいただいたと言っていた。どうやったのか聞くと、防犯灯を使ってるのであれば、町内会費を払わないと防犯灯を外す。それで怪我しても知らない。子どもも危ないだろうと言って町内会費を集めたそう。他の区長にも来てもらって、自分はこうしたなどの話を聞くのもよいと思う。そうすると前に進むと思う。	確かに地域づくりは難しい課題があるが、高齢者が増えて若い人も少なくなっている。ご意見として伺っておく。
地域社会	町内会	5班	北会津	理由があって町内会に入っていない方（世帯）もいる。市の配布物は市の税金を使って作成されているため、町内会から抜けた人にも市政だより等を配布してほしい。	町内会に加入していない方への市政だより等の対応については、担当課に確認をして、後日報告書により報告する。
地域社会	町内会	5班	城西	鈴懸町町内会では、高齢化により役員の担い手がいない状況になっている。過去に市内で解散した町内会があると聞いたが、ごみステーションの運営と市政だよりの配布、防犯灯代の支払いは、どのように行っているのか。	町内会が解散した話は少しずつ耳に入ってくるが、ごみステーションの管理、市政だよりの配布、防犯灯の支払いについて、具体的にどうしているのかは把握していなかったので、確認して事後報告等々でお知らせする。

【第1分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
地域社会	町内活動	3班	東山	そのような状況だと、なおさら自主防災組織の設立は難しいと思う。	市では、小規模の町内会の合併なども働きかけている。持続可能な町内会活動については、環境生活課に相談してもらいたい。市から町内会に依頼している業務も多く、町内会の負担が多いという声は多くいただいている。町内会の負担軽減については、議会審査の中でも市に改善を働きかけていく。
まちづくり	地域づくり	2班	神指	神指地区で文化祭が実施され、年配者から若い人までが一同に会することができて大変好評であった。しかし、近年は催し物がなくなったので皆が集まり催し物などができれば良いと思う。賑わいを創出するためのコーディネーターなどの存在も必要ではないかと思う。	地域づくり協議会組織が多くの地域で立ち上げられ活動が実施され、集落支援員、地域おこし協力隊が地域のコーディネーター的な役割も行っている。公民館にも支援員が配置されて相談を受けているところもある。
まちづくり	地域づくり	2班	神指	地区の文化祭が成功したのは、区長会長が熱く語り皆を一つにしたことが要因であり、地域をまとめる人や言葉が大切だと思った。区長が1年や2年で辞めることなく、長く仕事をしてもらうことが大切と考える。	大戸地区では、区長を辞めた後に、協議会活動で長く活動することで、より良い地域づくりができています。
まちづくり	地域づくり	2班	神指	区長を担う人も年々若くなり、勤めながら区長を行っている状況で、十分な区長活動もできない。区長の活動も簡素化することも大切ではないか。	ご意見としてお聞きします。
まちづくり	地域づくり	2班	神指	神指地区区長会の要望である、神指城跡が地区のシンボルであることを地域に広めていく取組に、市の支援をお願いしたことに対し、市の協力を頂いていると感じているので、今後も市と話し合いながら、まちづくりに取り組んでいきたい。	ご協力に感謝します。

【第1分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
まちづくり	地域づくり	5班	日新	七日町で酒屋を営んでいる。以前は地域の様々な困りごと聞いたりしたが、現在は、大店法改正等の法律の影響もあり、郊外へ大型店が出店している。 先日も七日町で泥棒が入ったらしいが、近所付き合いもなくなってしまい、防犯上においても心配である。 子どもへの声掛け、見守り等をする地域のコミュニティの核となる場所が必要ではないか。モデル地区を設定し、予算化してみてはどうか。 町内会の業務が多忙なこと、また、人口減少により担い手がいなくなっている。資料作りの講座等を開催して頂けないか。	子どもたちの登校時などの見守り等は、行われている。こどもクラブや放課後に子どもを預かる際に、地域の方々が子どもたちに勉強を教えていることなどが現状である。 資料作りへの支援として、高齢者へのパソコン教室等は地域ごとに行っていたり、スマートフォンの教室等を開催している地域もある。
まちづくり	地域づくり	5班	日新	送迎のボランティアを行っている方々の中には、自身の経験を通して自身の生活よりも活動を優先してしまうため、自身の生活ができなくなることもあるようだ。 I C T等の活用や、送迎であればMy R i d e どこでもバスを活用したり、双方がより良い生活を営めるような施策が必要ではないか。	ボランティアはできる範囲での活動となるため、総合的な施策の検討も必要であると考ええる。
まちづくり	担い手不足	2班	神指	神指地域にも地域まちづくり協議会の話はあったが、神指地域は公民館も分館であり、予算規模も小さいので組織作りは難しいし、支援員が本地区に来ることも考えづらいので、公民館職員をもう一人増やしてもらえればと考えている。区長会の担い手も不足している状況で協議会の組織作りは困難と考えている。	従来は区長会等が行っていたことが、区長会の担い手がいない中でできなくなってきた。区長会や若い人を含め、地域の人が皆で地域のことは地域で協議して、考えていこうとの取組が地域づくり協議会の考え方であり、行政も支援していくとの考え方である。

【第1分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
まちづくり	担い手不足	2班	神指	私は農業を行っているが、集落には農業の担い手がない。孫には農業を継いでもらいたいので、機会があるごとに孫とのスキンシップや農業の教育を行っている現況にある。	ご意見としてお聞きする。
まちづくり	まちづくり	1班	湊	笹山原のドコモキャリア電波が非常に悪い。電話があっても家の外で話をしないとイケない。仕事にも影響してくる。 せっかく移住しても住みにくい。	インターネット回線については、関西ブロードバンド株式会社が対応している。携帯電話の電波については、各キャリア会社の問題でもあるが、調査は必要と考える。
まちづくり	まちづくり	3班	大戸	人口減少が進むことで、学校や地域の行事に参加できる人が少なくなっている。 また、定年年齢が引き上げられたこともあり、区長をはじめ、地域の役員の担い手を見つけることも難しくなっている。市でもIターンやUターン移住者に様々な支援を行っていると思うが、市内には娯楽施設も少なく、買い物をする場所も限られている。 「住みたい」と思ってもらえる施策が必要ではないか。	若者の移住定住のための施策については、市や国でも予算化しており、市でも様々な施策をしているが、貴重なご意見として今後の参考にさせていただきたい。
まちづくり	まちづくり	4班	城北	行政や議会が若い人たちに求めていることは何か。	議会モニターには10代～30代の若い人たちも多く大きなエネルギーを持っていると感じている。高校生のモニターからは広報議会に対する改善意見をもらいうれしく思っている。たくさん外の世界を見て、会津に戻ってきてほしいと思っている。会津の改善点を提案してほしい。
まちづくり	まちづくり	4班	城北	県内各地の赴任先を回ってきて感じたことは、若者たちは、もっと日本全体、世界に目を向けてほしい。そして帰ってきて会津の活性化につなげてほしい。知識や技術を生かせるような街づくりをしてほしい。	貴重な意見交換ができた。

【第1分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
まちづくり	県立病院跡地	2班	謹教	県立病院跡地については、現在どうなっているのか。どうにもならないなら、そのままでいいと思う。あそこに芝生を植えて東屋でもあれば子どもの遊び場になるので、その方が費用も掛からずよいと思う。	様々な市民意見があったが、県立病院跡地の現状については、令和5年度に市が「基本計画」を作成し、今年度は市が県から土地を購入して現在は市が土地を管理している。そして、DBO方式、設計から施工、そして15年間の管理運営までを一括する方式で受注企業を募集したが応募がなかったため、現在再募集に向けて様々な調整・検討を市が行っている状況にある。
まちづくり	県立病院跡地	2班	謹教	これから子どもも減っていく中で、子育て支援施設はどれほど必要なのか。また、収益施設の収益性もどれほど見込めるのかわからない。土地の購入費用の8億円があれば、様々な施策に回すことができるのではないのかと考える。	土地の購入費用の8億円は、全額、市の持ち出しで一般財源で買うのではなく、国や県の有利な借金で買うので、8億円をそのまま他の施策に回すことはできない。 また、子育て支援施設となっているが、基本計画では異世代間交流施設になっている。子どもと保護者が使うだけでなく、高齢者も含めて交流できる施設にしようという計画になっている。
まちづくり	県立病院跡地	4班	行仁	県立病院跡地は応募する事業者がいらないということかと思うが、子どもの遊び場以外、商業施設も入るのか。	令和5年6月に基本計画が策定された。その中で、子どもの屋内遊び場、相談多目的スペース機能、防災機能、広場緑地機能、駐車場、便益機能、収益機能などが入っている。
まちづくり	県立病院跡地	4班	行仁	我々が必要としているものを吸い上げて貰えていないのではないかと思います。マーケティングというか、ヒアリングをしてないと感じる。便利な商業施設を希望している。	市が要求水準書を出しているが、プロポーザルでうまくいっていないのが現実。市は要求水準書をホームページでも出しているため、市がどのような施設を望んでいるのか、ぜひご覧いただきたい。

【第1分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
まちづくり	スマートシティ	2班	神指	10年ほど前にスマートシティを目指すと言っていたが、スマートシティはどうなったのか。	I C T技術や通信を駆使した、生活の利便性や快適な生活環境に係るものに、国から多くの補助金が出るため、本市でも積極的にI C Tを活用したスマートシティの取組をしている。その中心となる場所がアイクトの建物。スマートシティは現在も進められている事業である。
中心市街地	神明通り	4班	城北	神明通りのアーケード設置には多額の費用をかけたにもかかわらず活性化していない。一大拠点施設を作るなど力を入れて開発してほしい。	様々な団体がリオンドール跡地を利用してイベントを行ったり、定期的に活性化事業を行っており、市もバックアップしていることから、議会としてもチェックしていく。
地域経済	特産品	4班	町北高野	A i Z' S - R i C E（アイズライス）について、もっと行政が先頭に立ってブランディングすべきではないか。	産業経済委員会においても議論している。これまで以上に付加価値を付けるとともに、生産者同士のつながりも大切にしていきたい。
地域社会	区長	4班	町北高野	回覧板に挟む書類が足りず、自費でコピーすることもある。	ご意見として伺う。
地域社会	地域活動	4班	町北高野	個人情報の取扱いについて、老人ホームに入居する等で自宅を離れる際、区長には連絡が来ないか、事後連絡で来ることが多い。状況を把握しておきたいため市に相談したが、個人情報が壁となり教えてもらえない。	他の地域では自主防災組織を結成し、訓練等を行うことによって各家庭の状況を把握している。
地域社会	地域活動	4班	町北高野	若者が市外に出て行ってしまい、各組織の担い手不足に悩んでいる。	ご意見として伺う。

【第1分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
交通	公共交通	2班	神指	湊地区でライドシェアが実施されているが、神指地区では運行できないのか。ライドシェアの見通しと可能性について聞きたい。神指地区は中心市街地でもないし過疎地域でもない微妙な地域ではあるので、地域公共交通やライドシェアなどの取組はどのようになるのか教えてほしい。	地方公共団体が行う公共ライドシェアと日本版ライドシェアがあり、日本版ライドシェアはタクシー業者や民間の団体が共同して実施される。湊地区で運行しているのが日本版ライドシェアで、そのほかの地域のバス運行として「ふれあい号」「みなづる号」「さわやか号」の運行も行われている。湊バスの乗客は多いが、その他の地域バスについては一日数名の乗客で運行しており、市の補助金も投入されている。 一方、My Ride どこでもバスについては試行運転をしているが、市内中心街の運行で神指地区などの市周辺地域は通らない状況にある。運転手不足の問題などもあり、運行範囲を広げることには困難な状況であり、地域の公共交通のあり方については、今後どのようにしていくかを考えていかなければならないと思う。
交通	公共交通	2班	神指	神指地区の移動手段の現状は、家族の協力などでどうにか確保されている状況ではあるが、My Ride どこでもバスの範囲を広げていただくことはできないのかと思う。利用状況だけでなく、市内満遍なく公共交通の恩恵を受けられるように目配りしてもらいたい。	大戸地区の閤川では山中の集落のため公共交通がないので、市と閤川住民とが協議して、車を持っている人が自主的に運行している例もある。料金は燃料費等だけの運行サービスである。
交通	公共交通	5班	城西	深夜午前2時から3時になると、タクシーが営業していない。自分が具合が悪い時は救急車を呼べばいいが、親戚や知人の容態が急変した場合、駆け付けることができないという意見が対馬館団地町内会の中で出ている。当番制など深夜の交通手段の確保を検討してもらいたい。	民間事業所で運営されていることではあるが、意見を受け止めさせていただいて、今後の調査研究に役立てていきたいと思う。

【第1分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
交通	公共交通	5班	城西	My Ride どこでもバスの事業について、只見線から東側しか対応してなく、ドンキホーテからは呼べるが、御旗町からだ、結局しばらく歩かなければならず、利便性が低いと思う。 令和7年1月までには、対象が金堀地区も追加になるということだが、城西地区、門田地区などが追加エリアにならない理由が知りたいので、この事業の経緯と継続性について教えてほしい。	議会でも全面的な運用は所管委員会や一般質問を通じて求めてきた。中心部より周辺地域の方が、ニーズが高いといった意見が多く寄せられている。基本的にはまだ実証実験段階であり、バス路線の千石線などの代わりとして、昼間だけ使いたいというような意見もあり、現在はこの範囲となっている。利用者が増えれば全市的に対象を広げていく考えではあるが、まだ採算の部分も含め、検討できていないと聞いている。
交通	公共交通	5班	城西	例えば会津若松三島線を通っているバス路線の県道会津若松北会津支所線は、本当に1人や2人しか乗っていない。朝と夜の通勤通学で確実に使うところはそのままで、昼間はMy Ride どこでもバスを利用してもらうというような実証実験に拡大した方が運営事業者としてもよいと思う。	今回の試験運行も一つはそれが狙いであり、大型バスに1人や2人しか乗っていないというのは、非常に効率が悪い。経営の効率化、利用者の利便性の向上などを考慮して、総合的に判断するという実証実験なので、貴重なご意見として市に伝えたいと思う。
交通	公共交通	5班	城西	以前にも市民との意見交換会で高速バスの発着を西若松駅にできないか提案した。未だに県会津若合同庁舎前からしか高速バスが出ていない。西若松駅からは高速バスの発着はできないのか。 9月頃、会津鉄道を利用して田島から帰ってきた時、観光客の方が西若松駅でも結構乗り降りしていた。西若松駅まで高速バスが来たらもう少し誘客や市の活性化につながると思うので検討してほしい。	観光振興という面からも、住民の皆さんの利便性促進に努める観点からも有効だと思う。ただ、高速バスや路線バスは、認可を得て運行しているので、発着所の移動や増設はバス会社だけでは難しい状況にある。 以前のご意見も市を通して挙げているが、今回もまた改めてご意見があったとことを記載させていただく。時間はかかると思うが、ご理解いただきたい。

【第2分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
学校給食	給食費	1班	河東	財政調整基金を転用すれば給食費を無償化できるのではないかな。	財政調整基金は、年度間調整のための財源である。給食費については、後年度負担が継続して必要となるので、給食費の無償化に向けては、他の財源が必要と考える。
学校教育	教育環境	3班	大戸	学校の先生方の負担を減らすためにも、支援員の増員が必要ではないかな。	貴重なご意見として受け止める。所管する委員会でもご意見を基に深めていきたい。 特別支援教育支援員は、大戸小・中学校に1名ずつ配置されている現状である。地域の方のボランティア等も、先生方の負担軽減になっていると伺っている。
学校教育	教育環境	3班	大戸	地域の方が学校活動へのボランティアにも積極的に参加している。それでも支援員の拡充が必要であると感じる。	ご意見として伺う。
学校教育	小規模特認校	3班	大戸	大戸小・中学校が小規模特認校になってから、大戸地区外から通っている子どもたちもいる。以前の学校では登校できなかった子が通えるようになったと聞いている。丁寧な支援が必要だと思うが、そうすると先生方の負担が大きいのではないかな。 特に、支援を要する子をサポートするために、教育現場に人的な支援をお願いしたい。 また、大戸地区外から通う生徒の交通費が自己負担である状況はおかしい。せめて、一定区間だけでも電車賃の補助はできないかな。小規模特認校になって、学校に行けるようになった子を支援してほしい。 私も学校運営協議会のメンバーであるが、通学費の支援などについても学校や教育委員会に何度か話してきた。	大戸地区外から通っている児童・生徒は大戸小学校に6人、中学校に7人おり、電車通学をしている子どもが3人いると把握している。この件は所管委員会でも継続して協議していきたい。

【第2分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
学校教育	小規模特認校	3班	大戸	小規模特認校になり、地区外から来る子が増えることで、もともと大戸地区に住んでいる子どもたちに弊害は起きていないのか。	教育委員会からそのような話は伺っていない。学校運営協議会で把握していれば教えてほしい。
学校教育	小規模特認校	2班	謹教	大熊町の義務教育学校学び舎ゆめの森という認定こども園と義務教育学校が一緒になった施設に行ってきた。本市ではなかなか学校に行けない子も増えているが、そういう子も行けるような施設になっている。大戸小中学校は、学区がなくどこからでも通学できるようになっているが、逆に謹教や鶴城小学校のような市内の中心部にも、どこからでも来てよいという特認校にはできないのか。	子どもの人数が減っていることが特認校の前提になるため、難しい。
学校教育	小規模特認校	2班	謹教	勉強ができなくなって学校に行けなくなった子が、行きやすくなる環境をつくるにはどうしたらいいのか考えてる。会津若松市が学校教育でそういうチャレンジをしていくことを希望する。	貴重なご意見として伺う。
学校教育	送迎	1班	河東	河東学園は私が住む集落内にある。 東側の道路は、北側から南側の県道会津坂下河東線に向かう途中の丁字路で狭い箇所がある。集落側から来る自動車と、児童・生徒の送迎で通る自動車が事故になりそうな場面が発生しているので、解決していただきたい。 河東学園建設当時、旧河東町と集落住民で話し合いが行われ、交通事故の危険性についても話が出たが、通学の送迎時には東側の道路を通行しないように要請した記憶がある。 交通事故が発生しないように、教育委員会や保護者等と協議をしていただきたい。	河東学園整備時の住民説明会資料や覚え書きのような資料は現存しないようだが、仰ることは理解できる。集落内の通過を妨げることはできないが、送迎する保護者に留意するよう河東学園から依頼できないか関係部局に話をしたい。

【第2分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
学校教育	部活動	4班	城北	私は高校の教員で吹奏楽部の顧問をしている。 中学校吹奏楽部の部活動の地域移行について、その取組が現場に降りてきていない。吹奏楽部活動の持続可能性を検討してもらいたい。現在吹奏楽アカデミーがその受皿となって、合同練習などを行っているが、地域完全移行の令和8年度からはどうなるのか見えていない。そこで、以下について市はどのように考えているのか。 Q1 令和8年以降の受入れ団体はあるのか Q2 団体登録の概要、運営経費等 Q3 市の施設や学校の音楽室、体育館等の使用について Q4 楽器の調達や維持管理、運搬等	吹奏楽部の合同練習等の受皿となっている。 吹奏楽アカデミーは、現在河東学園後期課程や会津高校を拠点に活動しているが、令和8年度以降どうするのか、また、団体の在り方、活動場所や楽器の維持管理等については、現在検討中である。 議会としても所管する委員会に取り上げていく。
学校教育	部活動	4班	城北	吹奏楽連盟は学校の先生が主なメンバーであり、教員の働き方改革の観点から、同連盟が中心となって地域移行を進めていくのは無理がある。保護者の協力なしでは運営できないことから、今からその受皿の準備をしなければならないと考え会津ウインドオーケストラという団体を設立した。活動のプレステージとして教育委員会や吹奏楽連盟等から後援をいただきながら、今年の年末12月28日に會津風雅堂でコンサートを開催することとなった。	吹奏楽部活動の地域移行を見据えての団体設立活動はすばらしい。今後の活動に期待する。 議会としても令和8年度以降の完全地域移行に向けて、所管する委員会等に取り組んでいく。

【第2分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
学校教育	不登校	3班	大戸	不登校の児童・生徒の増加や、こどもクラブの待機児童が出ていることは大きな問題と考える。この点は強く改善を求める。	現在の不登校の子ども達を対象に、適応指導教室ひまわりやスペシャルサポートルーム等が設置されている。また、民間施設のフリースクールに通う子どもたちもいる。 議会としても、不登校の子どもたちの学びの場を更に充実するため、大きな課題として取り組んでいく。 こどもクラブの待機児童については、放課後児童支援員の確保も大きな課題になっており、待遇などの改善が必要であると考え。引き続き待機児童の解消に向け取り組んでいく。
学校教育	不登校	3班	大戸	なぜ不登校の児童・生徒数が増えているのか。	病気や経済的理由等以外の理由によって、年間30日以上学校を欠席した状態を不登校としているが、学校を休む理由も多様化しているため、一概に特定の理由を申し上げることはいできない。
学校教育	不登校	3班	大戸	復帰率とはどういう意味か。休む理由が多様化しているのであれば、そのような定義が本当に必要なのか。	復帰率の定義については、教育委員会に確認して報告書で回答させていただく。 ただ、学校に行くこと、復帰することだけを強調するのではなく、今後も広く子ども達に学びの保証をしていくことが重要であると考え。
学校教育	不登校	5班	城西	広報議会P 7に不登校生徒の状況と対策の件で、不登校児童・生徒数が322人と載っているが、児童と生徒の内訳はどうなっているのか。	小学校の児童が114名、中学校の生徒が208名で合計322名となっている。

【第2分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
学校施設	環境整備	2班	神指	学校施設の個別計画は、どのような評価に基づきどのように実施されていくのか知りたい。学校の老朽化も進んでおり、安全面も心配される状況にあることから、個別計画を教えてほしい。	公共施設については、公共施設再編プランが作られ、学校は保全計画となっている。保全し続けるだけでは将来の学校のあり方が分からないので、今後に向けて具体的な取組と計画を作成していくことが示された。現段階では、今の学校は残す考えであるが、少子化が進む中でこのままの現況で良いのかについては、地域の方々の声を聞きながら、議会としても学校の在り方を考えていきたい。
学校施設	環境整備	2班	神指	保全だけを行っていくことにも課題があるので、10年先20年先を見据えた取組はとても重要なことと思う。地域の声を挙げていかなければならないと思った。	
学校施設	環境整備	5班	北会津	川南小学校のアスベストについて教えてほしい。	担当課に確認して、後日報告書で報告する。
学校施設	プール	2班	謹教	前回の意見交換会では、学校施設でプールや学校の備品が古くて使えなくなったりしていることに関して、そのようなことではだめなのではないのかと質問した際「プールがなくても問題ない」「そのようなことは議会ではなくて同窓会に言ってほしい」というような回答だったが、それでよいのか改めてお聞きしたい。	これから本市の人口は増えずに減ることは間違いないが、かつてバブル期に国の補助金で整備した施設が多くあり、それらをこれからどうしていくかが問題となっている。 本市の公共施設は面積で言えば学校施設が4割、スポーツ施設が3割だが、令和3年に市が作成した「公共施設再編プラン」があり、その中で、学校は全て「保全」。つまり、子どもの教育だけではなく地域の拠点なので無くさないで引き続き管理していくことになっており、その時には地域の方々との相談も必要だと考えている。 一つひとつの学校をこれからどのように管理していくのかというような個別の計画は、これから地域と相談しながら作成していくことになっていると思う。

【第2分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
学校施設	プール	2班	謹教	子どもが減っても学校の建て替えは必要だし、その順番は決まっていると思うが、学校のプールが使えないことで、子どもたちに我慢させるのはひどい話だと思う。民間のスイミングスクールがあるというのは分かるが、難しいと思う。新しい学校を建てる際には、プールも整備するというような計画を立てるべきだと思う。	よく水泳の指導者がいないと言われるが、体育教師はいるので、水泳の指導ができないというのは話が成り立たないと思う。問題は、プールの修復維持に多額の費用が掛かるということ。しかし、お金が掛かるから体育の授業で水泳がなく、子どもが水泳をするために他の施設を使わないとならない現状がよいのかどうか、議会としてもっと考えて、意見がまとまれば市に対して提言することも考えられると思う。
環境	環境保全	1班	一箕	一箕地区の山は、山菜の宝庫。山は人間が整備しないと山菜やキノコがだめになる。山を大事にすることは、大切なことだと思う。	ご意見として伺う。
環境	ごみ	1班	一箕	ごみ減量化についての出前講座の申込方法に問題がある。キューロについての出前講座を電話で申込みしようとしたところ、電話では受付できないため、文書で申込みしてほしいと案内された。これはまさにお役所仕事だと思う。結局、出前講座の申込みをやめたが、この対応は改善すべきである。 また、ごみ減量化に向けて本気で取り組んでいるのか疑問に思う。市の覚悟が伝わってこない。	ごみ減量化に向けての取組を説明させてほしい。ごみ減量化への取組の一つとして、キューロに生ごみを入れ、家庭の生ごみを減らす取組をしている。 また、事業系ごみの減量化に向け、飲食店を中心に減量化のお願いと、宴席で生ごみを減らすため開始して30分間と終了前10分間（30・10運動）は、自席で食べていただく取組をお願いしている。 さらに、ごみ減量化への理解を求めるため、区長会を通して各町内会に職員を派遣している。
環境	ごみ	3班	東山	市では、ごみについて緊急事態宣言を出している。今後、11月までの減量目標が達成されなかった場合、どうなるのか。有料化されるのか。	市では、最終的に減量目標が達成されなかった場合は有料化を検討するとしているが、有料化の方法など具体的な内容については、まだ議会に示されていない。

【第2分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
環境	ごみ	3班	東山	食事を提供する事業所の立場からすると、お客様に食事のお持ち帰りをしてもらえると、食物残渣も減ると考えている。そのためには、保健所にも積極的にごみ減量化の方法を考えてもらいたい。	ご意見として伺う。
環境	ごみ	5班	城西	鈴懸町町内会の役員会議で、廃棄物対策課の職員からキエーロの説明をしてもらった。その時に興味を示してくれた方が2名いた。キエーロについては、町内会や学校など、いろいろな場所に実際出向いて、一対一で説明しないと普及しないと思う。 キエーロはポリバケツでも何でもできる。それをやることによって、ごみの分別の意識も高まった。こういうことを一対一で本気になってやらないとごみは減らないと思うので、出前講座をどんどんやってもらいたい。	廃棄物対策課では、区長会をはじめ、団体企業などで、こまめに説明を行っている。実際に4から5名集まってもらえれば、出前講座を行っている。本当に少ない人数でも出前講座は可能なので、ぜひ廃棄物対策課にご連絡いただければ、しっかりと知ってもらえると思う。 もう一点、キエーロについては、本当に洋服を入れるようなプラスチックケース等でも全然構わない。キエーロは、どちらかというと土が大事。今は全国的に手に入らないほどになっているが、いろいろな形で、ぜひ生ごみの対策をしていただきたい。
環境	ごみ	5班	城西	いらなくなった衣装ケースや、1,000円くらいのケースを使用しているが、ごみは消えて、全然土も増えない。	

【第2分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
環境	ごみ	5班	城西	ごみの焼却炉の規模が、少し小さくなる理由として、今後の人口減少が進んでいることが理由の一つと聞いている。そんな中、会津若松市は1人当たりの生活系ごみの排出量が同規模自治体でワースト4ということで、廃棄物対策課の職員も各町内のごみステーションを回り、啓蒙活動なども行い、いろいろ紹介してくれているが、全国的にごみ排出量が少ないランキングでトップの自治体は、会津若松市の半分ぐらいの排出量だという話を聞いたことがある。	会津若松市は同規模の232自治体で比べると、生活系ごみと事業系ごみの合計では、ワースト10位となっている。個別配布させていただいたごみの減量ガイドブックの中にも記載していように、生ごみの減量、リユース、リサイクル、そして食品ロスの対策が必要で、あとは有料化をしたことによってごみが減ったという話もある。 今、会津若松市ではキューロという取組を大々的に紹介しながら、生ごみ減量の対策をしているが、新聞報道であったように、ごみを前年比マイナス12%の削減をしなければいけないところ、9月はマイナス4.8%になっている。やはり一人ひとりの力に頼ることが一番なので、ごみステーションでの啓発活動や出前講座、市民とのワークショップなど、いろいろな形で啓発をしているが、それでも、減量化が進まないのであれば、市はごみ処分の有料化も1つの方法として考えている。
環境	ごみ	5班	城西	人口が減るからごみが減るという考え方はやめてもらいたい。今、孫を連れてきているが、孫たちのオムツはいずれは取れる。でも高齢者が増えるので、高齢者はこれからおむつを多く使用することになる。人口減少とごみの量を減らすというのは別問題ではないか。	人口が減少し、ごみの量が減るという意見も当初はあったが、実際は、人口が毎年1,000人以上減っていく中で、ごみについては、なかなか減らないという現状があったため、それがまず一つ意識の転換となった。 しかし、それよりも焼却炉を建てるのに高額な費用が必要になり、後の世代に負担をかけないという視点も踏まえ、三炉から二炉にしたと聞いているので、ご理解いただければと思う。

【第2分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
環境	ごみ	5班	城西	ごみの処分を有料化するということは、逆にお金さえ払えば何でも捨ててよいのかと考える人もいるので、そこは慎重に考えてほしい。	確かに、お金を払えばよいと考えてしまうという意見も聞いている。また、逆にお金を払いたくないから、不法投棄が増えるということもあると思うので、廃棄物対策課では各自治体の事例をしっかりと精査し、様々な課題を想定しながら、ごみ処分の有料化について慎重に考えていくと委員会の中で答弁をいただいたので、我々も改めて認識をしっかりと持って所管委員会の審査に臨んでいきたいと思う。
環境	ごみ	5班	城西	対馬館団地町内会では、先々月講習会を行った。廃棄物対策課に依頼すれば講師が来て教えられる。 私もキエーロを使用しているが、土さえあれば、ごみが全然増えない。そのまま完全に消える。大家族であればちゃんとしたボックスが必要だが、単身者であればプランターが1つあれば、1週間に2回まとめてやっても増えない。そういうことを宣伝するべき。 実際に対馬館団地町内会では、土を用意してやってみた。	生ごみに対する対応策として、町内会で土も用意されていることは、大変よい活動だと思う。ガイドブックの中にもキエーロについての説明が掲載してあるので、ぜひご覧いただきたい。
環境	不法投棄	1班	湊	崎川浜がキャンプ場になる話はどうなっているのか。共有地を貸出している。 木の倒木があった場合、なぜ地元で処理しないといけないのか。地元へ全く説明がない。観光課へ伝えてほしい。	中田浜、崎川浜ではトイレ問題もあると考えている。木の伐採は前回の意見交換会でも話があったので、地元へ説明するよう担当課へ伝える。

【第2分科会】 ○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
環境	太陽光パネル	5班	城西	テレビで太陽光発電の開発によって山崩れが発生することや太陽光パネル廃棄の問題を取り上げていた。市としての許可体制や、許可した後の運営のチェックについてどのようにしているのか。	市が設置した太陽光パネルについては、処分するところまで、自治体が責任を持つことが国のガイドラインに明記されていることから、きちんと対応している。それ以外の太陽光パネルの廃棄については、市としてまだそこまでは考えていないが、課題として捉えているところまでは委員会で答弁されており、今後の大きな課題になると思う。 また、許可した責任があるということも考えなければいけないので、所管委員会の中でもまた取り上げていきたいと考えている。

【第2分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
環境	風力発電	1班	湊	会津若松みなと風力発電事業は、市長に対して白紙撤回を求める住民の署名と共に陳情した。自然豊かな背あぶり山における今般の風力発電事業計画は、地域住民の安住の地を奪い、貴重な水資源を損なうものであることから、西田面・上馬渡・下馬渡町内会はもとより湊地区全体の問題として、市に対して反対の意思表示を行うものである。問題点として、以下の4つがある。 1、現在稼働しているコスモエコパワーの風車よりも一般住宅に近く、騒音と低周波による健康被害が心配である。 2、背あぶり山系は、生活の源である各地区の簡易水道の源泉が点在し、また農業用水である堤も点在することから、風力発電設置に伴う地下水や沢水への影響が懸念される。 3、背あぶり山系の沢は、全ての土砂災害特別警戒区域に指定されており、森林の伐採、工事用道路などで治水力が保たれなくなることから土石流も懸念される。 4、実施地区はクマタカやイヌワシの生息が確認されており、絶滅危惧種や希少野生動植物の保護を訴える。 以上のことを踏まえて、背あぶり山の山頂湊側斜面を新たに保全地区に指定し、乱開発を阻止するためにも、今般、福島市が制定を進めている条例制度を参考に本市も早急に制定することを願うものである。国が定める環境影響評価や環境アセスメントのガイドラインでは、土砂災害特別警戒区域、その他の土砂災害警戒区域への設置規制対象外となっている。議会としても参考にしてほしい。	ご意見として伺う。 ※福島市のように条例化してほしいとのことで、頂戴した参考資料の内容。

【第2分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
環境	風力発電	1班	湊	私は、風力発電事業の全てを反対しているのではなく、計画のうち、土砂警戒区域になっているところへの5基の建設をやめてほしいと考えている。生活そのものを脅かすものになってしまうか不安である。	市にも情報は伝わっている。福島市の条例は、大規模太陽光発電施設（メガソーラー）の設置を規制するもので、メガソーラー以外は規制されていない。一か所に集中してしまう問題もあるようだ。 議会としてはこのような発言があったと認識している。この問題は、市でも判断できないところにあるが、議会としても受け止めたい。
環境	風力発電	2班	謹教	背炙山の風力発電施設の建設計画については、議会は反対の陳情に対して反対というか、陳情は不採択になっているが、結局は建設は進められるのか。	背炙山の風力発電については誤解がある。背炙山の標高との比較で考えると、よく紹介されているイメージは風力発電施設を大きく誇張しすぎているので、正しい情報で考えてほしい。 議員の中では自然環境を守る、生物多様性の保護、住民の安全などを考えて建設計画に反対の議員もいれば、再生可能エネルギーの一つとして、環境アセスメントなどの法令を遵守した計画だと賛成する議員もいる。とにかく、正しい情報で正しい判断していただきたいと考えている。
環境	風力発電	3班	東山	背炙り山で現在8基の風力発電が稼働しているが、もう50基追加で設置しようとしている。この件について議会で煮詰めてほしい。風力発電について、議会で議題になっていないのではないか。	風力発電については、議会として関心を持っていないわけではなく、個々の議員もそれぞれの考えを持っていると認識している。
環境	風力発電	3班	東山	工事の最終許可には、市長の許可が必要と聞いている。議会のコンセンサスが重要になってくるであろうと考える。風力発電があつた場所に本当に必要なのか検討してもらいたい。	そういったご意見を、団体として正式に市に要望書を出してはどうか。市民からの意見を県に伝えるのも市の役割である。

【第2分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
環境	風力発電	3班	東山	以前、風力発電の件で要望に伺い、傍聴にも行ったことがある。その際に、議員は形式だけで本当に話を聞いていないと感じ残念な気持ちになった。「あの議員は会派で動いているから自分の意見が言えないんだ」「少数の市民が反対しているだけだから、気にしなくていい」ということも聞いている。議員がこの件について他人事に考えているように感じる。	風力発電については、地元の方々の意見がどうなのかが大事。議員は市民の皆さんから要望をいただくが、まずは、議員個人として事業内容を熟慮している。
環境	風力発電	3班	東山	風力発電建設反対は少数の意見ではなく、4,500名の署名を集めている。今後5,000名を目指し、意見書等を市や県にも出していきたい。	ご意見として伺う。
環境	風力発電	3班	東山	東山温泉の事業者として、山に人工的な構造物ができると様々な影響があると考ええる。以前は雨が降ると湯川は綺麗に流れていたが、現在は湯川に木が生えるような状況である。50基の風力発電のような人工構造物ができると、どのような影響が起こるか想像もつかない。	ご意見として伺う。

【第2分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
高齢福祉	健康生きがい対策	4班	行仁	ホームページでの周知は、以前に考えていたが管理が難しい。市のホームページもそうだが、何年も前の情報が載っている。このような状況だと、私はもう二度と見たくないと思ってしまう。だから、空き情報が古くなってはいけないし、やらない方がよいと思っている。立ち上げるときが一番お金を使う。 また、つなポンは一生懸命にやっており、地域のつながりにはよいが、ボランティアでできないかと思う。鶴ヶ城に集まって草むしりをしたらポイントが付く、というようなものにしたらいと思う。 市政だよりもパンフレットが今回は7種類あった。うちに70キロは届く。このパンフレットは有効なのか、そこを監視する人がいない。監視体制を作るべき。印刷費用の無駄遣いだと感じる。	議会の中でもつなポンは高齢者の社会参加と介護予防が一番のねらいとなっている。市民みんなで会津若松市を綺麗にしましょうとか、鶴ヶ城を綺麗にしましょうとか、湯川の一斉清掃とか、町内の側溝清掃とか、市民の参加活動には対応していない。やることや使えるお店の拡大は議会でもずっと議論してきた。少しでもやはり高齢者の社会参加と介護予防が一番の目的である。
高齢福祉	健康生きがい対策	5班	城西	つながりづくりポイント事業について、令和4年度で約1,600万円、令和5年度で約1,300万円の不用額が出ている。今年度も2,000万円ほど余るのではないかと危惧している。不用額が出ているのに毎年予算が増えるのはおかしいのではないか。	初年度は社会福祉協議会で、その後3年間は東武トップツアーズに委託された。今回の審議でも、予算に対しての実際の執行金額にかなり差があり、市としても見積りが甘かったと認識していた。来年度以降の事業がうまく進むように見直しをしてほしいと、文教厚生委員会の中で議論している。

【第2分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
国保	保険証	5班	北会津	マイナンバーカードと健康保険証が、一体化することにより、従来の保険証は令和6年12月2日に廃止され、新規発行・再発行が終了する。 自力で申請に行けない高齢者等の対応はどのように考えているのか。	市からは、自力で申請できない方もいるので、マイナンバーカードを取得できていない方が一定程度いるという認識が示され、市と市議会の中で課題となっている。 今後、健康保険証も運転免許証もマイナンバーカードと一体となる予定であり、マイナンバーカードを取得していない方に対して資格確認書が交付され、保険証の代わりにするなどの対応となるようである。 市議会から市に対し、不公平感が生じないよう要望している。 また、会津若松市内の福祉施設等を利用されている方には、『マイナンバーカード出張申請受付サービス』を行っている。
国保	保険証	5班	北会津	親が介護施設に入所しているが、マイナンバーカードと健康保険証が一体化することにより、個人情報漏れがないかと心配している。議会としてどのように考えているのか。	マイナンバーカードの申請については、個人情報保護の観点から強制されていないものの、デジタル管理をすることによって、病院の高額医療や期限が切れて10割負担になるようなことを回避したいなどのねらいがある。 国の基本的な考え方として、全国民のマイナンバーカード取得を目指している。市においても市民にマイナンバーカードを取得していただきたいと考えているが、強制はしていない。マイナンバーカードを作りたい方については、申請時に支援をしている。 今後は国の動向を踏まえながら、市議会としても市と議論しながら、作る方へのより良い支援を探っていきたいと考えている。

【第2分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
児童福祉	こどもクラブ	4班	城北	近所でお寺を運営している。こどもクラブの待機児童問題は気になっており、小学生から高校生までを対象に放課後自習室を開いている。待機児童の状況について聞きたい。	年度当初には数十名規模の待機児童がおり、放課後のクラブ活動やスポーツ少年団活動、習い事等によって夏にかけて徐々に減っていく傾向にある。松長こどもクラブまでタクシーで送っていく場合もあるが、年度末まで待機児童が解消しない事例も見られるようになっており増加している。議会として、学校の空き教室の活用をはじめ、更なる改善を求める要望を求めている。放課後の子どもたちの自習室の取組は大変ありがたい。
社会福祉	社会福祉協議会	5班	城西	社会福祉協議会の予算は削減されており、サロンの補助についても、当初の補助は、一町内会に5万円くらいであったが、現在は上限が2万2,500円まで下がっている。500世帯ある町内会と100世帯未満でも助成額に変わりはなく、助成対象を一町内会に1か所しか認められない。 まず、つながりづくりポイント事業よりも、社会福祉協議会に予算がないと活動ができないと思う。	先日、議長及び文教厚生委員で社会福祉協議会と意見交換をし、やはり同じようなご意見をいただいた。令和7年度の予算も潤沢な資金はなく、厳しい予算を立てなければならないことをご意見としていただいた。また、サロンが増えたことにより、補助の上限額が下がったという話をいただいているので、しっかりと受け止め、今後議論していきたいと思う。
地域福祉	民生委員	4班	行仁	民生委員・児童委員が改選の時期で、大量に退職される。後任者がいない。ここに空席が増えたらどうなるのか。 また、町内会を辞めることになったらどうなるのか。電気が止まるとか、どうやって町を保っていけるのか、議員も少子高齢化の現状は分かっていると思うし、我々の泣き言を発言しておきたい。	貴重なご意見として伺う。
生涯学習	公民館	4班	町北高野	北公民館の和室の畳が老朽化している。公民館に伝えても予算がないことを理由に解決しない。	調査して事後報告する。

【第2分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
生涯学習	施設管理	5班	北会津	「子どもの森（小田山）」の斜面に桜の木が植えてあるが、冬季間は、スキーやそりで遊ぶことがあるので、危険ではないか。	担当課に確認して、後日報告書で報告する。
交通安全	白線等	5班	城西	材木町三丁目町内会の中で、横断歩道のマークと外側線が薄くなったので塗り替えてもらいたいという要望があり、道路課に伝えたところ、横断歩道のマークは対応するが、その外側線については要望書を出してほしいと回答があった。 外側線が薄いというのは材木町だけでなく全市の課題だと思う。例えば、材木町三丁目個別の問題であれば、要望書を出すのは分かるが、毎回要望書を出すよう言われるのは、こちらも大変なので、改善してほしい。	横断歩道など交通標識の部分については、県の管轄になるが、外側線については市の予算で対応している。市内の多くで白線が薄くなっている状況があるので、順次直しているが、全てに対応しきれていない現状がある。要望書が出ていると優先順位が変わってくることもあるので、できれば要望書を出してもらいたい。我々としても、今後そういった部分が簡略化できるように審査の中で検討したいので、もう少し時間をいただきたい。
災害対策	災害時備品	5班	日新	災害が発生し、避難所へ避難するなどの対応をした後に、すぐ家族や知人・友人の安否確認をされると思われる。避難所に公衆電話等の通信機器が設置されると、不便な中にありつつも、避難者にとっての利便性が高まり、助かると思う。	平成25年7月25日にNTT東日本と「大規模災害時等における特設公衆電話の事前設置に関する覚書」を締結している。 各小・中学校へ3回線ずつ、他備品も保管されている。
防災・安全	交通	1班	湊	道路のセンターラインや一時停止線が消えている。警察署へ相談に行くと、市に相談してほしいと言われた。市へ要望書を出しているのに対応してもらえない。	過去の意見交換会でも話があり、その都度調査・報告をしてきた。建設委員会でも検討事項に挙がっていたが、議論が止まっている可能性もあるので、検討を再開できるようにしていく。
防災・安全	消防団	4班	城北	消防団第2分団分団長から意見を預かってきたので紹介する。以前は城北小学校の児童たちが防災パレードをやっていた。地区の大人たちがみんなで子どもたちの活動を見守っていた。	事前にいただいていたご意見を紹介した。

【第2分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
防災・安全	消防団	5班	北会津	自治会に消防団員が不在となっている地域もある。地域防災計画では、情報通信手段として、有事の際に住民に対して消防団員が状況を伝えることになっている。 しかし、現在その役割を担う人がいない状況なので、情報をホットラインで地区の代表に連絡してほしい。	市では、防災ラジオ（屋外スピーカー）の設置を予定している。
防災・安全	消防団	5班	北会津	消防団員の再編・削減について、予算がないことや、定員割れを理由として、消防団員を削減していいのか。有事の際に対応できるのか。人員については慎重に検討すべきではないか。	前回の報告書にもあるように、1,400人から1,200人に減少した状況にある。予算の問題で減らしたというよりは、担い手がいらない、若い方に入っただけないことを理由として再編されている現状にある。消防団員の役割は、火災以外にも行方不明者の捜索や、様々な災害、有事の際の対応など多岐に渡るため、消防団員を減らすことについて、議会としても、その有効性について市と何度も議論を重ねてきたが、現状を踏まえると1,400人では難しい状況にある。 そのため、自主防災組織も含め、自分たちの地域は自分たちで守るという意識を持っていただきたい。 今日は、防災や消防について有意義な意見交換できたのでよかった。
防災・安全	消防団	5班	北会津	消防団に対する消防団員の勤務先等の企業の理解も必要ではないか。	その通りであると考えている。

【第2分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
防災・安全	内水氾濫	2班	謹教	謹教地区では竹田病院の通りは広くなって、きれいになるのはいいことだと思うが、大雨が降ると内水氾濫が起きている。市役所の前の通りも内水氾濫や匂いが気になるが、側溝を掃除する体制をつくらないとだめだと思う。	大川や湯川等の外水氾濫については国や県で考えているが、内水氾濫は市の問題なので、議会としても研究テーマの1つとして有権者を招いてセミナー等を実施するなど、考えている。 現在、市では何百キロもある市内水路の全面改修は無理なので、雨水幹線をつくって内水氾濫を抑えていくということをやっているが、これも数十年単位で時間が必要。そのなかでハザードマップの見直しもあったが、下流域の西部地域を中心にして雨水幹線の整備を行おうとしていると思う。
防災・安全	ハザードマップ	5班	北会津	本年1月に改訂された内水ハザードマップに、北会津地区や河東地区の記載がないので、いわき市の例を参考に見直して追加してほしい。	記載がない理由は、担当課に確認し、報告書で報告する。
防災・安全	避難場所	3班	東山	災害の種類によって避難場所を変えないといけないのは理解できない。自分の地区では一律全員が行仁小学校に避難することに決めている。	避難場所を統一できないかという思いは理解できる。しかし、災害に応じて安全に避難できる避難場所が必要ではあると考えている。
防災・安全	避難場所	3班	東山	東山地区と、土砂災害警戒区域から外れている複数の民間事業所との間で協定を進めている。災害発生時に、市民が協定を結んだ事業所を避難場所として避難できるよう話し合いが行われている。	前回の意見交換会でも同様のご意見が出されており、危機管理課に確認したところ、11月中旬に協定が結ばれそうだと聞いている。

【第2分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
防災・安全	避難場所	5班	日新	日新コミュニティセンターが避難所となっている。日新地区は、只見線沿線より西側の地域が大まかに浸水区域となっており、城西地区は、高層の市営団地があり、そこが仮避難場所となった。日新地区においては高層の公営住宅が少ないため、仮避難場所を確保するため、民間のマンション等へ働き掛け等はできないか。	市は垂直避難も一つの有効な手法としている。民間施設の活用は、駐車場等はあるものの、建物そのものを避難所としている例は、聞き及んでいない。課題認識と受け止めている。 高層の市営住宅等における仮避難場所設置及び民間のマンション等との連携については、後日報告する。
防災・安全	避難場所	5班	北会津	避難場所が本年10月28日付で更新され、追加されたことは大変良かった。しかし、荒舘小学校は182名の収容人数で、真宮地区の住民の3分の1しか収容できない。 真宮コミュニティセンターも避難所として追加になったが、収容人数が少ないことから、新鶴方面の丘の上に避難するしかないと思っている。有事の際は、ICTを活用して、安全な避難ルートをスマホなどで見れるように公表してほしい。	荒舘小学校は、緊急避難場所として4,046名、指定避難場所として182名の収容人数となっている。 緊急避難場所から指定避難所に切り替わるタイミングについては、災害の程度によるが、一旦は最大で4,046人を収容できる。その後、自宅に帰れず小学校で寝泊りをする場合は、指定避難所として182名まで収容できる。 危機管理課では、個人に合った「マイ・タイムライン」、つまり、日頃から避難に関するさまざまな知識を学び、万が一、自分が災害に遭った場合、こういった行動を取ればよいのかを決めておいてほしいと呼びかけている。 また、緊急避難場所だけではなく、親戚関係や市が提携を結んでいる、ドラッグストア等の駐車場に車で避難して、そこでしばらく避難を続け、その後の対応を考えるようなことが現実として想定される。
防災・安全	避難場所	5班	北会津	川南小学校は避難所となっているが、アスベストがあることについて教えてほしい。	担当課に確認し、報告書で報告する。

【第2分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
防災・安全	防災訓練	3班	東山	災害はいつ起こるのかわからない。川や山の近くに住んでいる方がいるが、災害が起きたときに、そのような方が安全に退避できるように住民情報の把握やインフラの点検を行っているのか不安がある。3年か5年に一度でもいいので、消防団や市共同の防災訓練を行ってほしい。市は災害対策をどのように進めているのか。	市では、毎年異なる地区で防災訓練を行っている。他の地区では、独自で定期的に防災訓練を行っている地区もあり、東山地区でも市や消防団に協力を仰ぎながら防災訓練を行ってみてはいかがか。
防災・安全	防災訓練	3班	東山	自主防災組織を起ち上げ、慶山地区では過去に4から5回防災訓練を行ったことがある。令和2年には100名程が参加した。自主防災組織起ち上げの際も、防災訓練を行う際にも、市の危機管理課職員に何度も来てもらい、一緒に活動した経緯がある。	ご意見として伺う。
防災・安全	防災訓練	3班	東山	以前、慶山地区で行った避難訓練は大掛かりなものであった。準備することも多く、大勢の方の人出と時間を要した。最初は小さくできることから出前講座等を活用しながら考えてみたい。	ご意見として伺う。
防災・安全	防災訓練	3班	大戸	日本赤十字社から講師を呼んでAEDの使い方の方の講習を受けたことがある。講習などがあると、地区の中で防災について考え、共有するよい機会になる。 また、防災マップを活用して、地域のなかで危険な箇所などの認識を共有できたり、日赤と消防団で話し合う機会ができた。ハザードマップを活用して、防災訓練を行うこともできてよかった。	ご意見として伺う。

【第2分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
防災・安全	防災訓練	5班	北会津	避難訓練が終わってから、避難場所に指定されている施設に連絡したが、「訓練は終わった」として取り合ってくれなかった。訓練であってもこのようなことがないようにしてほしい。	ご意見として伺う。
防災・安全	防災計画	3班	門田	災害について、門田地区は広範囲であるため、川のそばに住む方は河川の氾濫を、山の上に住む方は土砂災害を心配し、中心の方はあまり関心がない。今後は、災害が発生した際にどこに逃げるのがベストか第三包括支援センターと検討していく。	災害に関心の薄い住民の方に対しては、『我が家の防災対策』など、様々な内容の出前講座を市が行っているのので、それらを活用し身近なテーマから取り組んで、防災意識を高めてはどうか。
防災・安全	防災情報	3班	門田	生成AIのジェミニを活用して、どう防災に生かすのか。市は情報を常にチェックして早めに備えをしてほしい。	ご意見として伺う。
防災・安全	防災情報	5班	北会津	平日8時30分から17時15分以外の時間帯に、市北会津支所に電話をかけると、本庁舎の警備室につながるが、有事の際の対応について教えてほしい。	担当課に確認し、報告書で報告する。
防災・安全	防災組織	3班	東山	地域の人の中には防災に関心が低い人も一定数いる。自主防災組織の設立について地区で話をしたこともあるが関心が低く設立には至っていない。災害には種類があるので、具体的な災害に対してどのように備えたら良いのかわからない。	市の出前講座では、ゲームを通して避難所運営について学んだり、震災から身を守る方法やシミュレーションを行う等様々なメニューがある。そのような場を通して皆さんの意識に働きかけていくこともできると考えている。 また、避難訓練を冬期間に実施できないかと議会で一般質問をした議員がおり、今のところ、市では冬期間の実施は考えていないようだが、可能な限り、様々な状況下での防災訓練を実施していきたいとの市からの答弁があった。

【第2分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
防災・安全	防災組織	3班	東山	市の防災会議のメンバーであるが、会議の事前に分厚い資料が送られてくるが、会議は短時間で終わるし、内容も非常に簡単な説明しかない。こんなに大事な話をなぜ簡単に終わらせてしまうのか。このような会議の在り方はいかなものか。 せめて、意見が出やすい環境になるように、市長ではなく、市の職員が議長をしてほしい。あの会議の雰囲気では、市長に意見を出しにくい。	貴重なご意見として伺う。
防災・安全	防災組織	3班	門田	自主防災組織については、地域で予想される災害の知識を共有し防災意識を高め、水害・地震のリスク低減につなげたい。 今後は、江戸時代、阿賀川の堤防がない時代の図面を基にして、地域データで避難場所、避難経路の共有を進めたい。 また、子どもを対象とした防災の取組も行っている。	ご意見として伺う。
防災・安全	防災組織	3班	大戸	設立して今年で2年目になる。設立時に補助金をもらったが、今後も自主防災組織が活動していくためには補助金が重要である。	ご意見として伺う。

【第2分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
防災・安全	防災組織	5班	北会津	新しい情報だが、市危機管理課において、地域防災計画見直しに向けた住民ワークショップを市内15地区（1地区当たり2回程度）で開催する予定がある。 地域づくり委員会、公民館、地域包括支援センター、地区社会福祉協議会がある地区は、地区社会福祉協議会を中心に開催すると聞いている。 北会津地区は、地域づくり委員会を中心として、このワークショップを開催したいと考えており、非常にいい取組であると思う。 自主防災組織は、会津若松では町内会が500地区程度ある中で全体の5%に当たる26地区にあり、大戸地区では100%組織されているが、北会津地区にはまだ組織されていない。三本松地域でも作ろうとしているが進んでいない。 今年の7月に区長会の視察で、宮城県を訪問したところ、自主防災組織の設置は白石市は92%、仙台市は97%という状況にあった。北会津地区は大きな災害が今までなかったため、危機意識が薄いと感じる。 しかし、近年各地で地震や水害が起こり、北会津地区は大川、宮川などもあるので、有事の際に備え、自主防災組織を作るべきであると思うが、この取組を議会としてどのように奨励しているのか、考えを聞かせてほしい。	市においては、地域防災計画を策定し、ハザードマップ等を作成しているが、自主防災組織関連の予算として、1団体、1町内会当たり、最大で10万円を補助し、加えて、世帯割りで最大で5万円を補助する制度がある。危機管理課においては、出前講座等も開催しながら、各地域で自主防災組織設立に向けた支援に取り組んでいる。 市議会においても、重要な取組であると考えているので、制度周知等に努めている。 ぜひ、北会津地区においても、設立してほしいと考える。
防災・安全	防災組織	1班	河東	自主防災組織の立ち上げを2地区で行った。マニュアルを作成したので進めていきたい。	河東地区は、合併以降協議会組織からまちづくり組織を立ち上げて活動している。その取組についていかがか。

【第2分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
防災・安全	防災組織	1班	河東	地区によって危機感に温度差があり、河東全体での組織化は進んでいない。自主防災組織を作りたくて委員を引き受けた経緯があるので、今後も取り組んでいく。	ご意見として伺う。
防災・安全	防災対策	1班	一箕	安全、安心に関連して、会津若松市区長会が開催した仙台市の防災活動と白石市の活動の研修会に参加した。 特に、仙台市は防災意識が高いと感じた。災害対策本部の構成には、行政や消防をはじめとした関係機関だけでなく、町内会関係者も入っている。その中に必ず女性を入れること、女性の意見を聞き取り、活動に生かすことが大事だと強調されていた。こうした研修会で出された意見をまちづくりに生かしたいと思う。	住みやすいまちづくりをしたい、安全、安心なまちを目指したい。とのことだが、もう少し具体的にどのようなことをしたいのかお聞きしたい。
防災・安全	防災対策	1班	河東	地域づくり委員会の開催は、毎月1回開催している。総務部、生活環境部、交通環境部があり、各部会で話し合いを行っている。 私は自主防災組織づくりを担いたいと思い、地域づくり委員会に参加した。私は東北各地を転勤で回っており、そこで大きな震災を3回経験した。宮城県で震災にあった時の状況は、震災対策を準備してきた宮城県でさえ困難な状況があった。 今の課題として、私の住む集落に高齢者が多く住んでおり、昼間は若者が集落内にいない。個人情報保護のため、集落内の名簿づくりも困難な状況にある。そこで、人助けに協力できる方、できない方の名簿をつくることを考えている。	ご意見として伺う。
防災・安全	防犯	4班	行仁	行仁地区では泥棒は入っていないのか。日新地区では泥棒があった。	情報としてお伝えするが、ポリスメールがあり、どこで泥棒が入ったか、という情報も

【第2分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
防災・安全	防災組織	4班	行仁	地域包括支援センターや危機管理課と防災ネットワークという会議をやっている。防災時の避難所などを防災時のマップに入れたり、これから防犯、防災に取り組んでいく。	見ることができるのでぜひ活用してほしい。
防災・安全	防犯	4班	行仁	泥棒はないが賽銭泥棒がいると聞いている。常習犯がいるので、把握している。	
防災・安全	防犯カメラ	2班	鶴城	地域の防犯のために、商店街に防犯カメラを設置したいが、市の補助（1/3補助）では予算が足りないため補助率の増加を要望していたところ、県警察の補助（1/2補助）を受けられるようになり、4台設置することとなった。	ご意見として伺う。
防災・安全	防犯カメラ	5班	城西	不審な人が来た場合や、何か事件が起きた時に後で確認できるよう、防犯カメラの設置を町内として考えているが、それに対する補助金はあるのか。	市の防犯カメラの助成金や補助金があるが、3割ぐらいいしか支援できないのと、対象がまちづくり会社や商店街、事業協同組合となっており、町内会は対象外。また、警察で実施している補助金の方が補助率が高いので、警察の窓口で相談されるのも一つと思う。市と警察の問い合わせ窓口を確認してお知らせする。
防災・安全	防犯カメラ	5班	城西	会社内で防犯カメラの設置を検討しているが、申請すれば補助が出るのか。	
防災・安全	防犯カメラ	5班	城西	西若松駅東口の植栽周りの柵が壊され、道路課に相談に行ったが、1か月以上経過したが返答がない。柵は修理されたが、他の場所もいたずらされているので、防犯カメラ設置の要望を出した。	ご意見として伺う。経過については、確認し後日報告する。
防災・安全	防犯カメラ	5班	城西	市として防犯カメラを設置している場所はあるのか。	商店街や事業協同組合あるいは、まちづくり関係の団体には補助金を出しており、設置しているところもあるが、市では学校などの公共施設以外は、設置していない。

【第2分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
防災・安全	防犯対策	3班	大戸	都市部では近年、強盗事件が多発している。大戸地区でも空き家の増加に伴い、空き巣や泥棒事件も起きている。夜間のパトロールを増やしてほしい。	地元の駐在所へ相談してみるのも一つではないか。
まちづくり	地域づくり	2班	神指	地区の文化祭が成功したのは、区長会長が熱く語り皆を一つにしたことが要因であり、地域をまとめる人や言葉が大切だと思った。区長が1年や2年で辞めることなく、長く仕事をしてもらうことが大切と考える。	大戸地区では、区長を辞めた後に、協議会活動で長く活動することで、より良い地域づくりができています。
まちづくり	担い手不足	2班	神指	神指地域にも地域まちづくり協議会の話はあったが、神指地域は公民館も分館であり、予算規模も小さいので組織作りは難しいし、支援員が本地区に来ることも考えづらいので、公民館職員をもう一人増やしてもらえればと考えている。区長会の担い手も不足している状況で協議会の組織作りは困難と考えている。	従来は区長会等が行っていたことが、区長会の担い手がいない中でできなくなってきた。区長会や若い人を含め、地域の人々が皆で地域のことは地域で協議して、考えていこうとの取組が地域づくり協議会の考え方であり、行政も支援していくとの考え方である。

【第2分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
地域社会	町内会	4班	行仁	他の地区の意見交換会も出たことがあるが、若い人が少ないので、広い場所で若い人を集めて意見交換会をしてはどうかと思う。 そして、先ほど出た町内会費が集まらないということについては、私の同級生が北滝沢の区長を何年か前にやったというので話を聞いてみた。 アパートの住人からは町内会費を集められないのかと聞くと、アパートは200室あったが、全員からいただいたと言っていた。どうやったのか聞くと、防犯灯を使ってるのであれば、町内会費を払わないと防犯灯を外す。それで怪我しても知らない。子どもも危ないだろうと言って町内会費を集めたそう。他の区長にも来てもらって、自分はこうしたなどの話を聞くのもよいと思う。そうすると前に進むと思う。	確かに地域づくりは難しい課題があるが、高齢者が増えて若い人も少なくなっている。ご意見として伺っておく。
地域社会	地域活動	1班	河東	私も地域づくり委員会に参加しているが、参加者が少なく発言も少ない。どのようにまちづくりを行っていくのか、丁寧な話し合いが必要だと思っている。参加者と発言を増やすことが重要と考える。	ほかに取組についての意見や考えがある方はいないか。
地域社会	地域活動	4班	町北高野	若者が市外に出て行ってしまい、各組織の担い手不足に悩んでいる。	ご意見として伺う。

【第3分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
観光	観光誘客	1班	一箕	一箕地区の自然豊かな田舎が好きで、特に山が近くにあることから山々を廻っている。東北地方では珍しく、一箕地区の山中に役行者（えんのぎょうじゃ）がある。自然豊かで一流の田舎であると感じている。こうした環境を整備することで観光資源になるのではないかと考える。	ご意見として伺う。
観光	観光誘客	1班	一箕	一箕地区には大塚山古墳があるので、教育旅行として誘致できないかと考える。私たちの時代の修学旅行は、観光旅行がメインだったが、現在は会津若松市に来る前に調べ学習を行い、現地でグループ学習をしている。大塚山古墳には大きな可能性がある。	一箕地区でまちづくりを進めていこうとする思いが理解できた。行政主導ではなく、皆さんが主導して地域づくりビジョンを丁寧で作ろうとしていると思う。今後も期待したい。
観光	交通渋滞	1班	一箕	観光客の入口は、一箕地区が担っていると考え。バスで来る方は磐梯河東インターチェンジで降り、一箕地区を通り、町の中心部に移動する。同じようなルートを通れば交通渋滞になるため、会津若松インターチェンジで降りた別ルートで回ることを提案したい。	まだ発言されてない方もいるが、地域づくりビジョンの関係で発言したいことがあれば、お聞きしたい。
観光	フィルムコミッション	1班	湊	昨日、映画撮影があった。会津若松フィルムコミッションで対応したのか不明だが、業者が集会所を休憩所として使いたいと連絡してきた。	我々では判断できない内容なので、詳しくは観光課に確認してほしい。
観光	東山温泉街（空き家）	3班	東山	街づくりの中で、東山温泉のスクラップ&ビルドについても考えてほしい。東山温泉も老朽化しており、防災について考えてもらいたい。	議会も市も入湯税の引き上げについて検討を進めている。スクラップ&ビルドという点においては、基金の設置について12月定例会議で条例改正案が出される。基金の用途については産業経済委員会で協議する予定である。しかし、防災に直接つながる予算ではないという点をご理解いただきたい。

【第3分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
観光	東山温泉街（空き家）	3班	東山	財源の使途については、基金が使われる前に事前に我々にも説明していただきたい。	ご意見として伺う。
農業	農業振興	1班	一箕	私は、会津の農業を考えないといけないと思う。全国で同様の農業ではなく、会津の農業をつくっていきたい。 アイズライスの栽培面積が増えていないため、アイズライスを作付けしたいと希望したが、定員オーバーで断られた。定員制であるとは知らなかったのも、担当課に確認してもだめだった。アイズライスの作付けを希望してもできないとなると、一箕地区でどのような農業をしていけばよいのか考えさせられる。	私は門田町で農業をしている。アイズライスは規定の数値をクリアすればよいはずだ。 議会の所管委員会では、アイズライスの普及促進が広まらない要因について協議している。現在のままでは課題、問題が残ったままだ。議会の中で是正に向けて取り上げる。地球規模でいえば、農業は本当に面白い。一箕地区の農家の皆さんと農業の可能性について協議をして、まちづくりに生かしたい。

【第4分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
水道	企業会計	4班	行仁	広報議会（令和6年11月号）の6ページでは、公営企業会計の水道事業と下水道事業の資本的収支の収入と支出のバランスがおかしい。もう少し素人でもわかるようにしてほしい。	水道に関しては、会津若松市は800キロにわたって水道管がある。それが古くなれば、新しくしなくてはならない。また、耐震の問題も出てきている。この改修工事等については、資本的収支で計算されており、どうしても収入より支出が多くなってしまい、経営赤字であるかのように見えてしまうが、内部留保資金等で補填することにより、健全な運営ができています。なお、収益的収支、資本的収支において、下水道事業は市民から受益者負担金を100%は頂いていない。市民からは約半分頂き、残りは税金等で補っている。
水道	水道料金	4班	城北	他市と比べて水道料金が高い。	古くなった水道管の更新、施設整備費や資材の高騰などにより今後の料金体系の在り方などについて検討しており、議会としても注視していく。
水道	水道料金	4班	城北	相模原市から引っ越してきて1年経つ。上下水道運営には、水の安定供給と健全経営によって料金が決められていることは理解するが、会津若松市の水道料金は高いと感じる。	本市の上下水道に係る予算関係は、市が提案し議会が決めて、第三者が維持管理を行っており、水源からの距離、浄水場の維持管理、老朽管の更新状況、工業用途での使用量など様々な状況をチェックし議決している。
公営住宅	住宅環境	2班	鶴城	城前団地内での引っ越しの際に、駐輪場などにゴミを捨てたまま引っ越す人がいる。 市としては、退去時には部屋だけでなく団地周りも含め確認し、毅然とした対応を取ってほしい。	市（担当部局）に発言内容を伝える。

【第4分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
公園	公園管理	1班	一箕	ヨークベニマル一箕町店西側に公園ができたが、子どもたちが遊ぶ遊具などが設置されていない。例えば、砂場があるだけでも小さい子どもは遊ぶことができる。子どもが安心して遊べる公園になっていない。また、公園の有効活用についても要望する。	扇町土地区画整備事業が終了したが、その事業で計画されていた、地区内の15の公園整備は、順次進められている。ご意見のあった公園については、扇町4号公園だが、予算の関係で全ての公園を一斉に整備するのは困難であるため、順番に整備している。子どもの成長は早いので、なるべく早く公園で元気に遊ばせたいということは理解できるが、もう少しお待ちいただきたい。
公園	公園管理	4班	行仁	東部公園にトイレがあるが、高齢の方から洋式にしてほしいと要望がある。市に伝えたが全体を考えなくてはならず、その1箇所だけ整備することは難しいと回答された。公園の近所に住む利用者は、家に帰ってトイレを済ませるが、遠くから来て遊んでいる子どもたちは、和式トイレが使えず、近辺の家でトイレを借りて困っている人もいる。 一律に考えるのではなく、利用者数を調べるなどして、利用者がいないところを整備するのではなく、利用者数が多い場所を優先的に整備してほしい。トイレが不便で公園に来ない人が増えてきている。	利用頻度を考えながら、東部公園に限らず、公園全体の整備について建設委員会で協議していく。 会津総合運動公園もやっと洋式トイレになった。学校も洋式化を進めているところだが、公園のご意見も頂戴できてありがたい。 公園は防災の視点からも避難場所になるので、防災面からも文教厚生委員会でも協議していく。

【第4分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
公園	公園管理	4班	行仁	大町中央公園はとても大きな公園だが、夜は真っ暗。昼間は、ベンチがぼろぼろで高齢者が日向ぼっこもできない。夜は若い学生のたまり場になっている。遊具もないし、落ち葉は道路に溜まりメンテナンスがされていない。トイレも財布が落ちたら取れないほど暗い。冬は閉鎖になる。それなのに、市は大町中央公園を避難場所としている。 しかし、私は公園を避難場所にしてはならないと思っている。雨が降ったら高齢者はどうするんだ。私はみんなに第一中学校に避難するように言っている。そうすれば雨はしのげる。公園で高齢者の方がぶら下がって運動ができたり、もう少し明るい公園になるといいと思う。	公園は避難所ではなく、一時的な避難場所である。区長が言うように学校が避難所で間違いない。公園での避難訓練はまだされていないので、区長のお話を聞いて、そういうことも非常に大事なことで感じた。文教厚生委員会でも議論する。 トイレの視点も重要だと感じたので市議会予算決算委員会第4分科会でも議論していく。
公園	公園管理	5班	北会津	公園の除草等を町内会等に委託した場合の委託料の支払い先について、個人の口座に振り込まれていないかを確認するなど、適切な対応が行われているのか。	担当課に確認して、後日報告書で報告する。
雪害対策	除雪作業	3班	門田	社会福祉協議会から依頼される間口除雪も、体制が維持できなくなっている。	ご意見として伺う。
雪害対策	除雪作業	3班	門田	面的除雪とは何か。	令和2年から扇町と松長地区で試行的に実施している除雪方法で、1路線を1業者が除雪する従来の方法ではなく、複数の路線を複数の業者が協力して担当することで、多様な除雪機種のが組み合わせが可能になるなど、除排雪の効率化を図っている。今後、対象地域を拡大するかどうかは、まだ検討段階である。

【第4分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
雪害対策	除雪対応	3班	大戸	面的除雪とはどのような内容で、どのようなメリットがあるのか。	除雪業者がそれぞれ所持している除雪用重機は異なるため、規格の異なる複数の除雪機械を相互に利用して、除雪作業の効率化を図ることができる。 面的除雪は、複数の業者が区域内の除雪に入り、除雪が滞っている箇所に対し、ほかの業者によるバックアップができるなどの利点がある。除雪と排雪を一括して委託することで、地区の排雪状況を把握して対応できる点も特徴である。
雪害対策	除雪対応	3班	大戸	冬期間に南原から石村までの区間や、あまや駅の前などで、除雪をしない区間があるが、国道118号で事故があると交通渋滞が起きる可能性がある。除雪を希望する道路は農道であるが、冬期間の除雪は検討できないか。 なお、この件は以前から要望として何度か市には伝えてきた。	農道は、農作物の搬出や農業機械の進入路などを目的に整備された道路で、一般交通の道路とは利用条件が異なっている。ご指摘の路線は冬期間の利用を前提としておらず、除雪で舗装にヒビが入り、路面状況が悪化する恐れもあるため、除雪を行っていないことをご理解いただきたい。
雪害対策	除雪歩道	2班	鶴城	令和5年度は、城前交番付近の歩道の除雪をしていただいた。令和6年度もお願いしたい。	市（担当部局）に発言内容を伝える。
道路	自動車専用道	2班	鶴城	第二中学校に接する自転車専用道路（市道幹I-11号線）において、旧図書館前から三万石付近が狭いため、自動車が通ると、自転車が歩道を走行している。歩道と車道の間にはガードレールがあるが、ジグザグに走るため危ない。また、自転車専用道路もデコボコしているところがある。	現地を確認し対応する。
道路	市道認定	3班	門田	土地区画造成後、公道と公道を結ぶ道路にはならず、行き止まりになっている私道があり、市の除雪対象になっていない。また、市への寄附も受け付けられなかったらしい。	市道の認定についてはルールに沿って判断している。私道の除雪についても一定の条件があり、除雪対象を決めている。

【第4分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
道路	消雪施設	1班	河東	高塚団地から国道49号に出るエリアについて、以前から消雪パイプの敷設をお願いしている。 また、停止線も消えかかっていることが多いので対応してほしい。	以前からいただいている要望事項なので、会派要望等により、様々な場面で要望し続けている。市からは、優先度により整備が遅れているとの回答が繰り返されているが、引き続き要望し続けていく考えであるので、継続して要望してほしい。
道路	道路管理	4班	城北	会津若松インターから下りて市街地に入るとき、ナビでは上荒久田交差点からピボットに向かう市道幹Ⅰ-6号線を案内することもあり、土日祝日は特に交通量が多くなる。駅の踏切遮断機が下りているときなどは、石堂町に車がどんどん入ってくる。歩行者や高齢者にとっては非常に危険だ。	市議会予算決算委員会の第4分科会で審議した経過はあるが、石堂地区への車の流れについては、今後、所管する委員会で取り上げていきたい。
道路	道路管理	5班	城西	スマートシティA i c t前の通り（北出丸大通り）の草木が繁殖しており、市に連絡した。会津若松市はスマートシティを掲げていて、スマートシティA i c tは、その象徴的なシンボルの建物であり、お城の入り口でもある。ちょうど会津まつりの開催前であったが、もし観光に来た人がその現状を見たらどう感じると思うだろうか。観光に力を入れる市であれば、そういうところにもしっかりと目配りしてほしい。	市の職員もパトロールをして、順次除草作業は進めているが、時期によっては、草木の伸びが早く、間に合わない場合もある。所管委員会としても、観光地でもあるので、駅前やお城の周辺などは、こまめに整備すべきだと意見しているので、もう少し見守っていただきたい。
道路	道路整備	1班	湊	平潟から高坂に至る市道Ⅰ-24号線は、長年の懸案事項で、地元から市へ要望を出している。早急な改善を求める。	市の建設部と議会では、市道Ⅰ-24号線の要望について認識している。過去には、地元と道路整備について話し合いをした経過もある。今後、所管委員会の中で取り組んでいく。

【第4分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
道路	道路整備	2班	神指	道路整備について、要望があつて10年を経過したものについては、もう一度精査して見直しをすることであるが、神指地区の状況はどのようなになっているのか、わかる範囲で教えていただきたい。要望は出しているが回答がないものが多くあるように思うので、要望したものが計画に載っているのかなど地区要望の取組状況を教えてほしい。特に、神指地区で進められているところがあれば教えてほしい。	この件に関する資料を持ち合わせていないので、神指地区の状況を回答することはできない。 県工事の会津縦貫道路については、起工式もある予定なので、会津縦貫道路につながる市道については優先的に進めている。 また、緊急性や危険性のある道路も優先的に行っていく。地区要望の道路整備に関しては随時道路課に確認し、書面で要望することで要望が進められやすくなると思う。一方、交通量の少ない箇所においても重要な道路整備は行うべきと考えている。
道路	道路整備	2班	神指	要望に対する市の回答があれば私たちも納得するが、市の業務が多忙のためか市の回答がない場合がある。回答がないと私たちも今後の見通しができないので、必ず要望に対する回答をお願いしたい。どのような場合でも常にアンサーバックは必要と思う。	
道路	道路整備	2班	神指	道路の整備を年間どの程度行っているのか教えてほしい。	市民から要望のあった工事等は年間30から50件程度対応しており、その他を含め、道路・水路の整備には年間5億から10億円を支出している。 一方、新たな要望や緊急的な修繕などがあり、全部の整備をすることは不可能。かつては多くの予算があつた時もあつたが、今は福祉予算も多く、建設インフラ的な予算は限られたものになっている。また、整備に必要な生コンや砂利の支給もあるので活用してほしい。
道路	道路整備	2班	神指	母はシニアカーで買い物に出かけるが、歩道のない箇所などがあり大変危険なので、道路整備を行いシニアカーでも安全に通行できるようにしてほしい。また、シニアカーの普及も移動手段として地域では特に大切と思う。	道路整備の参考意見としてお聞きする。

【第4分科会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
都市計画	都市計画	2班	鶴城	市は様々な計画を作っているが、城前地区に対応する総合的な捉え方が見えにくい。 城前地区全体を文化ゾーンとした総合的な構想を作してほしい。	地域の人がどのような文化ゾーンとしてあるべきかというような声が反映できるシステムが必要と考える。 議会として何をどこまでできるかなどについて研究・検討させていただきたい。
都市計画	都市計画	2班	鶴城	景観条例では建物の高さを10m未満にしないといけないが、飯盛山からの眺望で見えるのは県立博物館の屋根くらいだけである。城前地区としてはこの条例が有効なのか疑問である。また、色彩も白・黒・ベージュというのはいかがなものか。	条例に基づく規制なので、この規制により具体的に問題がある場合は対応を考えなくてはならない。 現状についてはご意見として伺う。
河川	河川管理	4班	町北高野	第2沼川には、一箕町から運んだ土砂が仮置きしてある。大雨の際に川が溢れないか心配だ。	河川の底の掘り上げに関しては今年度より順次調査を行っている。引き続き注視していく。
河川	河川管理	4班	町北高野	藤室街道の拡幅工事の予定はどうなっているのか。中止にするのなら中止にすると、計画があるなら示してほしい。何も連絡がないのはおかしい。	都市計画道路としては認定されている。計画は中止されてはいないが、すぐに行えるものではない。市全体の状況を踏まえて整備を検討する必要があると考えている。
河川	河川管理	5班	北会津	過去の災害時に、阿賀川の堤防に亀裂が生じたが、市は、認識しているのか。どのように認識しているのか。	担当課に確認し、報告書で報告する。

【広報広聴委員会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
意見交換会	意見交換会	2班	鶴城	議会モニターになった。今回の参加を楽しみにしてきた。	参加していただき、感謝する。
意見交換会	運営	4班	行仁	ここで3箇所目の意見交換に参加させてもらっている。みんなで考えなくてはならない問題があると思うのだが、議員が来て何度も同じ問題が出て、その後に全体会合を開いて、もっと具体的に市民も巻き込んだ討論会を會津稽古堂を一日使ってするべきだ。そういうことがなされていない。子育てについても、福島大学の教授を呼んでシンポジウムをやったらいと思う。東日本大震災の時から会津坂下町では分校などを使って震災になったらどうなるかについて、毎年行っているが、会津若松市はやっていない。	貴重なご意見をいただいた。
意見交換会	参加者	5班	北会津	本日の意見交換会の参加者が少ない（4名）。 以前は10から15人ほどいた。多くの方に参加してもらえるように対策を検討してほしい。	参加者はもちろん多いほうがよいと思うが、少ない人数でも、内容の濃い話し合いができればよいと思う。 現在は、広報議会11月号（11月1日発行）を市政だよりと同時に配布し、広報を行っている。また、地区の区長にもチラシ配布するなど、案内をしている。 今回はテーマが「地域防災について」なので、交通安全協会の方2名の他、消防団員の方にも声を掛けた。今後は、若い方や様々な市民団体にも声掛けを行っていきたい。皆さんからのお声掛けもお願いしたい。

【広報広聴委員会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
意見交換会	参加数	2班	謹教	今日の意見交換会の参加者が2人だけだが、議会として意見交換会を開催するに当たってどのような活動をされたのか。日曜日の開催は謹教地区にとってどうだったのか。	参加者が少ないのは主催者である議会としての取組が不十分だったと思う。今回は、今まで行っていたチラシの組回覧をしなかったことも影響しているのかもしれないが、この結果を受けてしっかりと対策を考えていこうと思う。
意見交換会	報告書	2班	鶴城	町内会役員も交代することから、意見交換会の時に前回の報告書があることは重要。	ご意見として伺う。
議会広報	議会映像	1班	河東	市議会定例会議のユーチューブ配信では、議員が登壇して発言したときは明確に聞こえるが、答弁席での発言は、不明瞭で聞こえづらい。	感染症防止策として透明の亚克力仕切り版を設置していたことが原因なのか、ハウリングが生じたりする場合があった。また、マスクをしたまま発言する議員もいるので、その影響もあったのではないかと類推する。 令和7年度には新庁舎に移り、議場設備もリニューアルされると聞いており、今の議場に改修工事をするのは難しいことから、今しばらく猶予をいただきたい。
議会広報紙	掲載内容	4班	城北	右開き後の横書きなど、広報議会が読みやすくなった。 県の広報紙、社協だより、公民館だよりなどと一緒に届くので、より多くの人に読んでもらえるように、ポイントを絞ってコンパクトな編集にしてもらいたい。	議会広報紙の名称が今後、議会だよりになる予定である。市民からの広聴手法についても、これまでの広報議会モニターから議会モニターになったので、紙面の改善はもちろん議会に対しての意見もいただいきたい。

【広報広聴委員会】

○ 議会報告、市政全般（地区別テーマ含む）について

項目	小項目	班	地区	市民の発言内容	議会（議員）の発言内容
議会広報紙	掲載内容	4班	町北高野	広報議会に掲載されている、各議員の一般質問は内容が省略されており、質問したことが全て掲載されていない。QRコードから議会映像を見れば全て分かるとのことだが、どんな質問をしたのか知りたい市民もいる。 もう少し一般質問のページを拡充すべきではないかと思う。また、前半ページに関しては無駄な部分もあるので、一般質問のページを拡充していただきたい。	広報紙は広報広聴委員会で試行錯誤して作成している。貴重なご意見として伺う。
議会活動	視察	5班	城西	議員はいろいろな場所に視察に行っていると思うので、具体的にどうやってごみを減らしたのかという事例を紹介していただきたい。	1つの事例として、町内に集積所を作らないで、各家庭への個別集配にした自治体があった。そうすると自宅の前にごみを出すので、分別が徹底された。また、他からのごみの持ち込みもなくなり減量化に成功したという事例もあった。

3. 事後処理報告書について

市民との意見交換会・事後処理報告書

ページ	地区	件名	処理（対応）内容	備考
P 16	日新	市内小中学校の空き教室の地域活用について	【市民からの要望・質問】 地域の拠点及び集まれる場所づくりについて、学校の空き教室や体育館等を活用できないか。市内の中心部に集まるのではなく、各地域に拠点を作りコミュニティーを形成するべきである。 【事後処理結果】 11月15日 教育総務課及び学校教育課へ確認。 各学校に授業等で使用していない教室はあるが、特別教室や一時待機所、備品や教材を置いておくスペースとして使用している。地域への開放となると難しいと考える。 なお、使用希望の場合は、学校へご相談いただきたい。	
P 32	北会津	町内会未加入世帯への市政だより等の配布について	【市民からの要望・質問】 理由があって町内会に入っていない方（世帯）もいる。市の配布物は市の税金を使って作成されているため、町内会から抜けた人にも市政だより等を配布してほしい。 【事後処理結果】11月19日 秘書広聴課広報広聴グループに確認。 市政だより等の市の広報物は、できるだけ多くの市民の皆様に届いてほしいと考えていることから、町内会への加入・未加入に関わらず、各町内会から申告された部数をお届けし、あわせて未加入世帯への配布についても、協力をお願いしている。 実際に未加入世帯へ配布していただいている町内会もある一方で、未加入世帯に配布するかどうかは各町内会での判断となるので、まずは、お住まいの地区の区長に相談していただきたい。 また、市政だよりは市の公共施設等にも配置しているので必要に応じて、そちらからの取得をお願いしたい。	

市民との意見交換会・事後処理報告書

ページ	地区	件名	処理（対応）内容	備考
P 32	城西	解散した町内会での行政運営について	【市民からの要望・質問】 過去に市内で解散した町内会があると聞いたが、ごみステーションの運営と市政だよりの配布、防犯灯代の支払いは、どのように行っているのか。 【事後処理結果】 ○ごみステーションの運営 11月18日に廃棄物対策課に確認したところ、町内会が解散してもごみステーションは町内会のものであり、ごみの収集は町内会の存続に関わらず行われるべきなので、もしも解散するのであれば、今後の管理について十分に話し合っていたきたい。市としては、町内会が解散してもごみステーションの管理だけはお願ひしたいと考えているとのこと。 ○市政だよりの配布 11月18日に秘書広聴課広報広聴グループに確認したところ、町内会が解散した場合の市政だより等の配布については、ある程度の人数の配布希望者がいて、配布していただける方がいる場合には、その方にお届けすることが可能。また、そのような取りまとめ役がない場合には、近くの公共施設に市政だより等を設置しているので、そちらを利用してほしいとのこと。 ○防犯灯代の支払い 11月18日に危機管理課に確認したところ、町内会が解散した場合の防犯灯の支払いは、市では引き受けないので、解散する際に今後はどのようにしたいのかを地区で決めてもらいたいことと、危機管理課に相談してほしいとのこと。	
P 35	湊	携帯電話の電波が弱いことについて	【市民からの要望・質問】 笹山原のドコモキャリア電波が非常に悪いため、家の外で携帯電話を使わないといけなひ。 【事後処理結果】 調査した結果、携帯電話会社では、お客様相談室を開設しているので、相談してほしい。	

市民との意見交換会・事後処理報告書

ページ	地区	件名	処理（対応）内容	備考
P 39	城西	My R i d e どこでもバスの事業の経緯と継続性について	【市民からの要望・質問】 My R i d e どこでもバスの事業について、只見線から東側しか対応してなく、ドンキホーテからは呼べるが、御旗町からだ、結局しばらく歩かなければならず、利便性が低いと思う。 令和7年1月までは、対象が金堀地区も追加になるということだが、城西地区、門田地区などが追加エリアにならない理由が知りたいので、この事業の経緯と継続性について教えてほしい。 【事後処理結果】 11月21日に地域づくり課に確認したところ、範囲設定の経緯については、「My R i d e どこでもバス」は路線バス等の空白地域を解消するために実証実験を行っており、城西地区は路線バスがあるため対象エリアとなっていない。 継続性については、担当課としては期間を延長したいと考えているが、会津若松市公共交通会議（11月下旬）で相談し、期間延長の要望が挙げれば、運輸局に申請する考えでいる。 今後の範囲拡大については、路線バスの運行状況などを考慮し、バス業者、タクシー業者と慎重に協議したいとのこと。	
P 41	河東	河東学園の送迎について	【市民からの要望・質問】 河東学園の児童、生徒の送迎について、集落の東側の道路は、北側から南側の県道会津坂下河東線に向かう途中が、丁字路で狭い箇所があり事故の危険がある。集落と学校、保護者が話し合いをして解決していただきたい。 【事後処理結果】 教育委員会に確認。 これまでの経過も調査し、河東学園と相談しながら、今後の対応を検討していくとの回答を得た。	

市民との意見交換会・事後処理報告書

ページ	地区	件名	処理（対応）内容	備考
P 43	大戸	復帰率の定義について	【市民からの要望・質問】 復帰率とはどういう意味か。休む理由が多様化しているのであれば、そのような定義が本当に必要なのか。 【事後処理結果】 12月16日に教育委員会に確認。 復帰率とは、不登校児童・生徒の総数に対して、復帰傾向にある児童・生徒の占める割合のこと。復帰傾向にある児童・生徒とは、1年間の指導結果を対象として、文部科学省が示す事例を参考に、各学校が個々の児童・生徒の状況に応じて、継続的に登校できるようになったと認めた児童・生徒数のこと。 （文部科学省の例示） ・1学期中は全く登校できなかったが、教育支援センターでの支援を受ける中で、特定の教科の学習に興味を持てるようになり、3学期には、興味がある教科の授業がある日は登校できるようになった。 ・2学期の前半までは月に1回程度しか登校できなかった中学3年生の生徒が、担任教諭が家庭訪問を繰り返す中で将来の進路などを自ら考えるようになり、その後、週に1回程度は登校するようになった。	

市民との意見交換会・事後処理報告書

ページ	地区	件名	処理（対応）内容	備考
P 44	北会津	川南小学校のアスベストについて	【市民からの要望・質問】 川南小学校のアスベストについて教えてほしい。 【事後処理結果】（11月18日 教育総務課に確認） 使用箇所：屋内運動場 器具庫 ○教員への周知不足 学校において、吹き付けアスベストの使用箇所と囲い込みの状況を確認するとともに、日常的な点検や、児童に対する安全対策を行うよう、これまでも校長・教頭に説明してきた経過にあるが、学校全体として状況を理解し適切な対応ができるよう、学校に対して改めて周知徹底している。 ○新入児童・保護者への周知 過去には新入学児童説明会などで周知を行ったこともあったが、今年度はPTA役員会で校長から一部の保護者に周知を行った。今後については、保護者に広く周知するため、年度当初のPTA総会などで周知を行ってもらおうよう依頼している。 なお、保護者はもとより、体育館の利用者にもわかるよう、器具庫の入口に周知文を掲示して周知している。 （11月18日 危機管理課に確認） ○避難所にあすべすとがあることについて 普段は封じ込めをしているので安全は確認しており、もし地震や溢水などで建物が崩壊するなどの安全面の確保ができない場合には、避難所として開設しない方針で対応すること。 また、避難した後に余震等で建物の崩壊などが見受けられる場合には、速やかに他の避難所等に移動していただくよう対応する。	《参考資料》（写真あり） 器具庫入口周知文（令和4年8月25日から掲示） 
P 48	湊	崎川浜に関する計画に対する地元への説明	【市民からの要望・質問】 崎川浜がキャンプ場になる話はどうなっているのか、地元へ全く説明がない。観光課へ伝えてほしい。 【事後処理結果】 崎川浜に関する整備計画については、地域づくり課をはじめ、複数の課で担当している。今後、地元への説明会を考えている。	

市民との意見交換会・事後処理報告書

ページ	地区	件名	処理（対応）内容	備考
P 48	湊	崎川浜の倒木の処理	【市民からの要望・質問】 崎川浜の共有地を貸出している。木の倒木があったがどうして地元で処理しないといけないのか。 【事後処理結果】 倒木がある件については、観光課で把握していなかった。共有地の管理については、令和5年度から、森林の現状把握と倒木の危険性がある木を計画的に伐採している。 なお、今後についても地元と協議をしながら進めていく。	
P 55	町北高野	北公民館の和室の畳の老朽化について	【市民からの要望・質問】 北公民館の和室の畳が老朽化している。公民館に伝えても予算がないことを理由に解決しない。 【事後処理結果】 当局に確認したところ、「施設の修繕については必要性や利用状況を踏まえ、年度予算の範囲内で順次対応している。本件についても安全で快適に利用していただけるよう、関係部署と協議しながら検討していくとのこと。	北公民館の和室の畳 
P 56	北会津	「子どもの森（小田山）」の斜面に桜の木が植えてある件について	【市民からの要望・質問】 「子どもの森（小田山）」の斜面に桜の木が植えてあるが、冬季間はスキーやそりで遊ぶことができることになっているので、危険ではないか。 【事後処理結果】 11月29日 生涯学習総合センター（會津稽古堂）に確認。 桜の木は、以前、市の許可を得て、「NPO法人はるなか」が植樹。スキーやそり遊びなどには支障のない（危険性はない）と考えている。	

市民との意見交換会・事後処理報告書

ページ	地区	件名	処理（対応）内容	備考
P 58	北会津	内水ハザードマップについて	【市民からの要望・質問】 本年１月に改訂された内水ハザードマップに、北会津地区や河東地区の記載がないので、いわき市の例を参考に見直して追加してほしい。 【事後処理結果】11月13日 都市計画課に確認。 内水ハザードマップは、短時間の集中豪雨（ゲリラ豪雨）により、下水道雨水幹線や水路などで排水しきれない雨水があふれ浸水が発生した場合などを想定し、浸水区域や浸水の深さなどの浸水情報と水害発生メカニズムや避難方法などの情報をまとめたものである。 北会津地区・河東地区等においては、今後検討の余地はあるものの、現在雨水幹線や雨水幹線計画のない地区であるため、作成していない。	
P 59	日新	市営団地等高層住宅の仮避難場所及び地域内のマンション等の民間施設への仮避難について	【市民からの要望・質問】 日新コミュニティセンターが避難所となっている。日新地区は、只見線沿線より西側の地域が大まかに浸水区域となっており、城西地区は、高層の市営団地があり、そこが仮避難場所となった。日新地区においては高層の公営住宅が少ないため、仮避難場所を確保するため、民間のマンション等へ働き掛け等はできないか。 【事後処理結果】 11月15日 建築住宅課へ確認。 城西地区の区長より要望を頂いたため、高層団地の共用部に限り仮避難場所とした。他の地区においてもそのような要望を頂ければ検討する。 11月21日 危機管理課へ確認。 民間所有のマンション等を仮避難場所とするような協定等は締結していない。	

市民との意見交換会・事後処理報告書

ページ	地区	件名	処理（対応）内容	備考
P 59	北会津	避難所にアスベストがあることについて	【市民からの要望・質問】 川南小学校は避難所となっているが、アスベストがあることについて教えてほしい。 【事後処理結果】11月18日 危機管理課に確認。 これまでに、封じ込めをしており安全性を確認している。仮に地震や溢水などで建物が崩壊するなど、安全性が確保されない場合には、市で避難所として開設しない方向で対応する。また、避難した後に余震等で建物の崩壊などが見受けられる場合には、速やかに他の避難所等に移動していただくように対応する。	
P 61	北会津	業務時間外の会津若松市北会津支所の電話対応時間について	【市民からの要望・質問】 平日 8 時30分から17時15分以外の時間に会津若松市北会津支所（0242-58-2211）に電話をかけると、本庁舎の警備室につながるが、有事の際の対応について教えてほしい。 【事後処理結果】 11月12日 会津若松市北会津支所のまちづくり推進課に確認。 業務時間外となる午後 5 時15分以降は、支所代表電話（0242-58-2211）に架電した場合、本庁警備員室に転送となる。本庁警備室から北会津支所の緊急連絡網により担当職員に電話連絡をし、当該職員が、内容に応じて対応することになる。	

市民との意見交換会・事後処理報告書

ページ	地区	件名	処理（対応）内容	備考
P 65	城西	防犯カメラ設置の補助について	【市民からの要望・質問】 不審な人が来た場合や、何か事件が起きた時に後で確認できるよう、防犯カメラの設置を町内として考えているが、それに対する補助金はあるのか。 会社内で防犯カメラの設置を検討しているが、申請すれば補助が出るのか。 【事後処理結果】 11月18日に危機管理課に確認したところ、商工課で行っている商店街等への補助金があるが、町内会向けの補助制度は市としてはない。 11月18日に警察に確認したところ、今年度から県警では、全県で500万円（1件あたり上限50万円）の予算があり、町内会や自治会、組合等に補助が出せることになった。しかし、今年度の申請期間は令和6年9月9日から10月10日までとなっており、来年度の継続については未定となっている。	
P 65	城西	西若松駅東口の経過について	【市民からの要望・質問】 西若松駅東口の植栽周りの柵が壊され、道路課に相談に行ったが、1か月以上経過しても返答がない。 【事後処理結果】 11月25日に道路課に確認したところ、相談を受け、直ちに道路課の職員が柵の修繕を行った。	

市民との意見交換会・事後処理報告書

ページ	地区	件名	処理（対応）内容	備考
P 72	北会津	公園の除草等を町内会等に委託した場合の委託料の支払い先について	【市民からの要望・質問】 公園の除草等を町内会等に委託した場合の委託料の支払い先について、適切な処理が行われているか。 【事後処理結果】11月13日 農林課に確認。 農村公園維持管理の委託先の振込口座は、すべて公的団体名義に振り込まれている。 【事後処理結果】11月14日 まちづくり整備課に確認。 公園維持管理の委託先の振込口座は、すべて公的団体名義に振り込まれている。	
P 73	鶴城	自転車専用道路（市道幹Ⅰ-11号線の北側部分）における安全確保策について	【市民からの要望・質問】 第二中学校に接する自転車専用道路（市道幹Ⅰ-11号線）において、旧図書館前から三万石付近が狭いため、自動車が通ると、自転車が歩道を走行している。歩道と車道の間にはガードレールがあるが、ジグザグに走るため危ない。また、自転車専用道路もデコボコしているところがある。 【事後処理結果】 ○今回の対応 11月19日（火）に現地調査を実施し、自転車専用道路の幅員や損傷状況を確認した。 ○現状と今後の対応 11月20日（水）現地調査結果を踏まえ、道路課と協議したところ、現状の自転車専用道路の幅員については、自動車道幅員を確保したうえでの設置となっていることから拡幅は困難である。また、自転車専用道路としてカラー舗装している部分についても改めて確認し、自動車道と併せて道路パトロールにより適切に維持管理を継続していくとの見解を得た。 議会としては、歩行者、自転車、自動車など、当該道路の全ての利用者の安全確保への対応を引き続き市に求めていく。	位置図、現況写真は別紙

自転車専用道路 現況写真（市道幹 I-11 号線）



県立博物館付近 1.20m



小田垣前交差点付近 1.00m



保健所付近 1.10m



三万石付近 1.15m



市民との意見交換会・事後処理報告書

ページ	地区	件名	処理（対応）内容	備考
P 76	町北 高野	第2沼川に仮置きしている土砂について	【市民からの要望・質問】 第2沼川には、一箕町から運んだ土砂が仮置きしてある。大雨の際に川が溢れないか心配だ。 【事後処理結果】 11月20日、現地調査を行い、都市計画課へ第2沼川の改修事業に関する概要を確認したところ、市道の整備時期と調整を図りながら、河川の整備時期を検討していくとの回答を得た。	第二沼川橋（国道49号のケーズ電器付近）にて現地調査 
P 76	北会津	阿賀川堤防のひび割れについて	【市民からの要望・質問】 過去の災害時に、阿賀川の堤防に亀裂が生じたが、市は、どのように認識しているのか。 【事後処理結果】11月13日 都市計画課に確認。 今まで阿賀川については、国に対しその箇所の修繕等の要請したことはなく、地元地区等から要望を受けたこともない。地区等から要望をいただければ、国への要請活動を検討する。	